

プローブ情報活用ワーキンググループ

1. プローブ情報活用ワーキンググループの概要

2. 取組状況

【1年目】 取組の流れについて（知立市・蒲郡市）

【2年目】 対策の実施予定について（豊川市・東浦町）

【3年目】 対策の実施状況について（春日井市）

→ 1. プローブ情報活用ワーキンググループの概要

2. 取組状況

【1年目】 取組の流れについて（知立市・蒲郡市）

【2年目】 対策の実施予定について（豊川市・東浦町）

【3年目】 対策の実施状況について（春日井市）

1. プローブ情報活用ワーキンググループ（WG）の概要

（１）設置趣旨

県内の自動車メーカーが保有するプローブ情報について、交通事故の防止、事故数減少に資する交通安全施設の設置等の交通安全対策への活用を検討する。

（２）構 成 員

トヨタ自動車株式会社、中部地方整備局、愛知県警察本部 交通部交通総務課・交通規制課、愛知県 道路維持課・産業振興課、豊橋技術科学大学 松尾准教授（アドバイザー）、参画自治体

（３）概 要

自動車安全技術プロジェクトチームの下に、平成25年に設置されたWG。
トヨタ自動車株式会社が保有するプローブ情報を活用し、交通安全対策を実施する。
プローブ情報活用WGでは、1つの取組について3年サイクルを進める。

1 年 目

○ 対策箇所・対策内容の決定

プローブデータをもとに、交通事故の危険性が高い道路を選定。
その後、現地調査を実施し、効果的な交通安全対策を検討する。

2 年 目

○ 対策の実施

自治体の道路管理者及び愛知県警により、道路への交通安全対策を実施する。
例：路面表示の塗り直し
ポストコーンの設置 など

3 年 目

○ 対策の効果検証

道路への交通安全対策を実施する前と後のプローブデータを比較し、交通安全対策の効果がどの程度あったかを検証する。

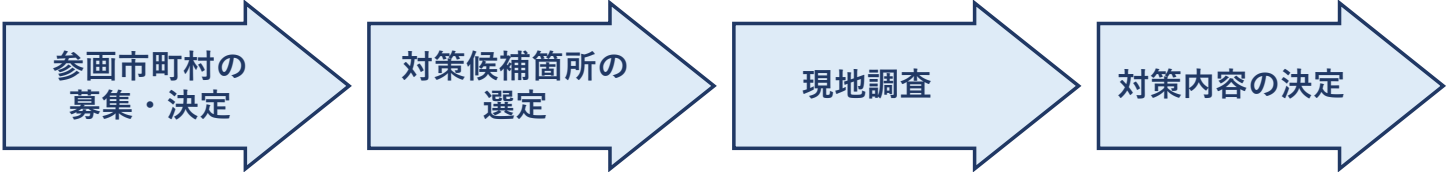
2. 今年度の参画自治体

参画自治体（1年目～3年目）

◆ 参画1年目の知立市、蒲郡市、参画2年目の豊川市、東浦町、3年目の春日井市の合計5自治体。

	取組内容	自治体	着目
1年目	・ 対策箇所の選定 ・ 現地調査 ・ 対策内容の決定	知立市 蒲郡市	一時停止率
2年目	・ 対策の実施	東浦町 豊川市	一時停止率
3年目	・ 対策の実施 (効果検証は令和7年度に実施)	春日井市	・ 高車速情報 ・ ABS ・ 一時停止率

3. 今年度のスケジュールについて

1 年目	知立市 蒲郡市	
2 年目	東 浦 町 豊 川 市	
3 年目	春日井市	
会 議		8月2日 第1回WG 会議 (実施済) 11月 第2回 WG会議 2月 第3回 WG会議

1. プローブ情報活用ワーキンググループの概要

2. 取組状況



【1年目】 取組の流れについて（知立市・蒲郡市）

【2年目】 対策の実施予定について（豊川市・東浦町）

【3年目】 対策の実施状況について（春日井市）

1. 今年度の参画自治体について

対策候補箇所の
選定

- ◆ プローブ情報活用WGに参画し、プローブデータを活用した道路への交通安全対策の実施を希望する自治体を募集するため、県内全自治体に対し照会を行った。
- ◆ 選定の結果**知立市**及び**蒲郡市**を新規参画自治体として決定した

期間

2024年5月1日（水）～ 5月31日（金）

対象

県内全 51自治体（36市 13町 2村）

回答

回答数： 2 2 自治体（回答率 4 3 %） （昨年度回答数 2 7 自治体）

希望する	7	知立市、蒲郡市 、尾張旭市、阿久比町、西尾市、岡崎市、名古屋市
検討中	4	豊山町、蟹江町、武豊町、南知多町
希望しない	1 1	新城市、東海市、東郷町、弥富市、北名古屋市、日進市、稲沢市、半田市、岩倉市、長久手市、豊橋市

2. 取組の流れ

対策候補箇所の
選定

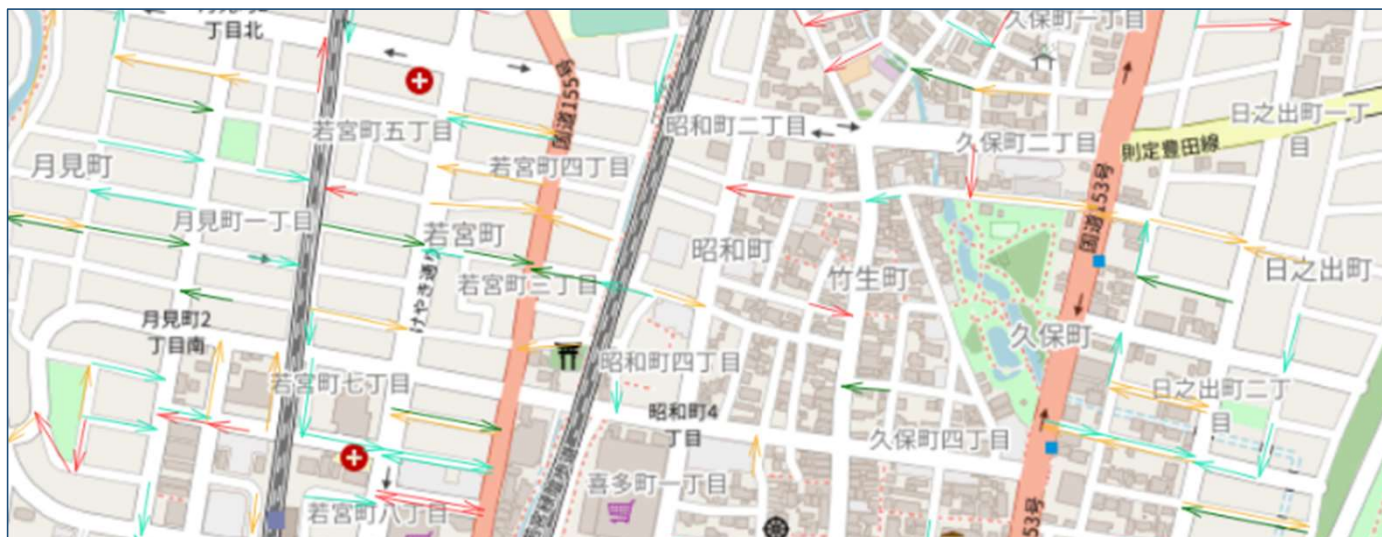
着目：一時停止率



【出典：Tableau 公式webページ】

- ◆ 一時停止の規制がある場所を道路交通情報センターのオープンデータで把握。
一時停止の規制がある場所を通過するクルマの速度をトヨタ自動車株式会社のプローブデータから取得し、
一時停止率を導出する。
- ◆ 一時停止率を数段階に区分し、色付きの矢印として地図上に表示する。
(一時停止率が悪い、即ち事故の危険性が高いと予測される箇所を可視化することが可能。)
- ◆ データの閲覧には、BIツール「Tableau Reader」を用いる。

<一時停止率可視化のイメージ>



✓	一時停止率(%)
✓	20 - 40
✓	40 - 60
✓	60 - 80
✓	80 - 100

【画像の提供：トヨタ自動車株式会社】

2. 取組の流れ

対策候補箇所の
選定

参画自治体が直接、自治体全域の「一時停止率」のデータを見て、対策箇所を選定する。
「一時停止率」のデータだけでなく、見通しの良し悪し、担当者の意見等を総合的に考慮し、選定する。

一時停止率



見通しの良し悪し



担当者の意見



- ・ データから一時停止率を把握。
- ・ 現場における経験のみでは発見できない危険地点を発見し、対策することが可能。

- ・ 見通しが良い道路では、一時停止率が低くなる傾向があるが、優先的に対策を実施する必要があるとは限らない。
- ・ 優先的に対策すべきは、
「**一時停止率が低く、見通しも悪い箇所**」。
- ・ 現地調査の際にも見通しを確認。

- ・ 自治体連携型交通安全マネジメント
- ・ データだけで選定するのではなく、周辺住民からの要望や自治体の意向等も踏まえ対策箇所を選定する。

2. 取組の流れ

現地調査

対策内容の決定

現地調査を実施し、対策内容を検討

対策候補箇所の「見通しの良し悪し」など、道路状況を確認する。
一時停止率向上のため、「**適切に一時停止させるための対策**」を検討する。

※ 一時停止率向上に資する対策以外の実施についても、合せて検討する。

例

- ・ 止まれの路面標示
- ・ 止まれ等注意喚起看板の設置
- ・ 横断歩道カラー舗装化
- ・ 一時停止取り締まり
- ・ ハンプの設置
- ・ 狭さく
- ・ 一時停止線の前出し 等

対策内容を決定

現地調査で参加メンバーから挙げられた対策内容等の意見を事務局でとりまとめ、
各対策実施機関（市町村道路管理者 及び 県警交通規制課）に対策実施の可否と実施予定時期を確認する。

2. 取組の流れ

対策の実施・効果検証指標の検討

効果検証

対策の実施（2年目）

参画2年目に、市町村道路管理者 及び 県警交通規制課により、道路への交通安全対策を実施。

効果検証指標の検討（2年目）

実際に対策を実施した内容を参考に、どのような指標で効果検証が可能か、仮説を立てる。

例

- | | | |
|--|---|------|
| <ul style="list-style-type: none">・ 止まれの路面標示・ 止まれ等注意喚起看板の設置・ 横断歩道カラー舗装化・ 一時停止取り締まり・ ハンプの設置・ 狭さく | } | 最低速度 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 一時停止線の前出し | } | 停止位置 |

効果検証（3年目）

対策前後の「一時停止率」及び「検討の結果挙げられた指標」を比較し、効果検証を実施。

1. プローブ情報活用ワーキンググループの概要

2. 取組状況

【1年目】 取組の流れについて（知立市・蒲郡市）



【2年目】 対策の実施予定について（豊川市・東浦町）

【3年目】 対策の実施状況について（春日井市）

対策の実施予定について

① 大崎町天神前地内交差点

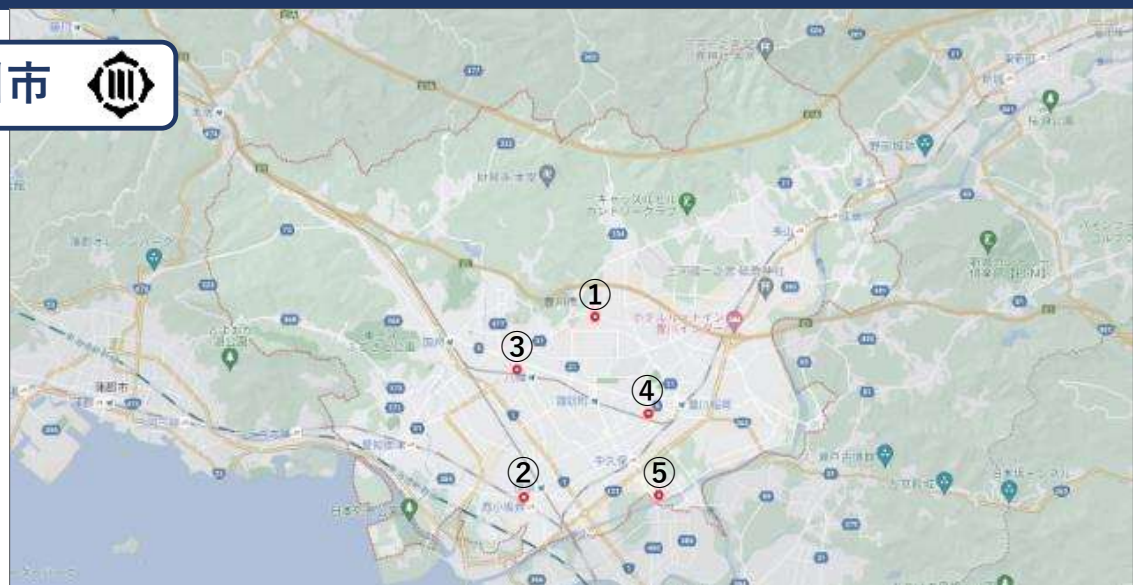
② 伊奈町縫殿地内交差点

③ 八幡町弥五郎地内交差点

④ 金屋町地内交差点

⑤ 正岡町流田地内交差点

豊川市



東浦町



① 森岡前田地内交差点

② 緒川苅又二区地内交差点

③ 緒川西釜池地内交差点

豊川市

現地調査実施箇所一覧

	実施箇所	選定理由（交差点の状況）	一時停止率が低い方向
①	おおさきちょうてんじんまえ 大崎町天神前地内交差点	・東三河環状線開通（R5.5.30～）に伴い、当該交差点の信号機が撤去され、東西道路が一時停止路線となった。 ・上記の影響なのか、直近3か月の中で5回事故が発生。	東 → 西
②	い な ちょうぬいどの 伊奈町縫殿地内交差点	・小坂井西小学校の通学路に指定されており、朝の時間帯（6時～9時）大勢の児童が通学している。	東 → 西
③	やわたちょうや ご ろう 八幡町弥五郎地内交差点	・東三河環状線から豊川市民病院、イオンモール豊川、八幡駅へ向かう車が増加している。 ・主要地方道国府馬場線（姫街道）へ抜ける道で利用が増えている。	西 → 東
④	かな や ちょう 金屋町地内交差点	・付近に大型商業施設があり、通過車両が多い。 ・4方向中、3方向が一時停止の規制となっている。 ・過去に車の単独事故あり	東 → 西 西 → 東 北 → 南
⑤	まさおかちょうながれた 正岡町流田地内交差点	・数年前に開店した複合商業施設駐車場に出入りする車が休日に多く、交差点付近が混雑する。 ・筋違いの交差点となっている。 ・特別な交差点安全対策はない。 ・過去に車と車の出会い頭の事故あり	南 → 北 北 → 南

対策の実施予定について

豊川市



01 | 位置



① 大崎町天神前地内交差点



02 | 選定理由と一時停止率データ

① 大崎町天神前地内交差点

選定理由

- ・ 東三河環状線開通（R5.5.30～）に伴い当該交差点の**信号機が撤去**され、東西道路が一時停止路線となった。
- ・ 上記の影響なのか、**直近3か月の中で5回事故が発生**。

事故の状況等

- ・ 豊川警察署に5回起きた事故の内容、時間等を確認

人身事故	2件	8月26日	午前9時10分	出会い頭の事故
		10月19日	午後3時5分	出会い頭の事故
物損事故	3件	9月8日	午前9時55分	出会い頭の事故
		10月26日	午後2時30分	単独事故
		10月26日	午後4時8分	出会い頭の事故

02 | 選定理由と一時停止率データ

一時停止率データ

方 向 東 → 西

期 間 2023年 6月 ～ 2023年 7月（2か月）

平日/土日祝 平日及び土日祝の両方

	時間帯	通行台数	一時停止率
	6 時 - 9 時	3,300 台	37.6 %
	9 時 - 16時	5,700 台	50.2 %
	16時 - 20時	3,190 台	54.9 %
	20時 - 6 時	1,180 台	38.1 %
	全体	13,370 台	47.1 %

① 大崎町天神前地内交差点

※参考

方 向 西 → 東

期 間 2023年 6月 ～ 2023年 7月（2か月）



時間帯	通行台数	一時停止率
6 時 - 9 時	- 台	- %
9 時 - 16時	230 台	43.5 %
16時 - 20時	- 台	- %
20時 - 6 時	40 台	75.0 %
全体	270 台	48.1 %

※参考

方 向 東 → 西

期 間 2022年 8月 ～ 2023年 7月（1年間）

時間帯	通行台数	一時停止率
6 時 - 9 時	20,840 台	41.6 %
9 時 - 16時	37,390 台	35.7 %
16時 - 20時	22,980 台	42.6 %
20時 - 6 時	6,020 台	28.9 %
全体	87,230 台	38.5 %

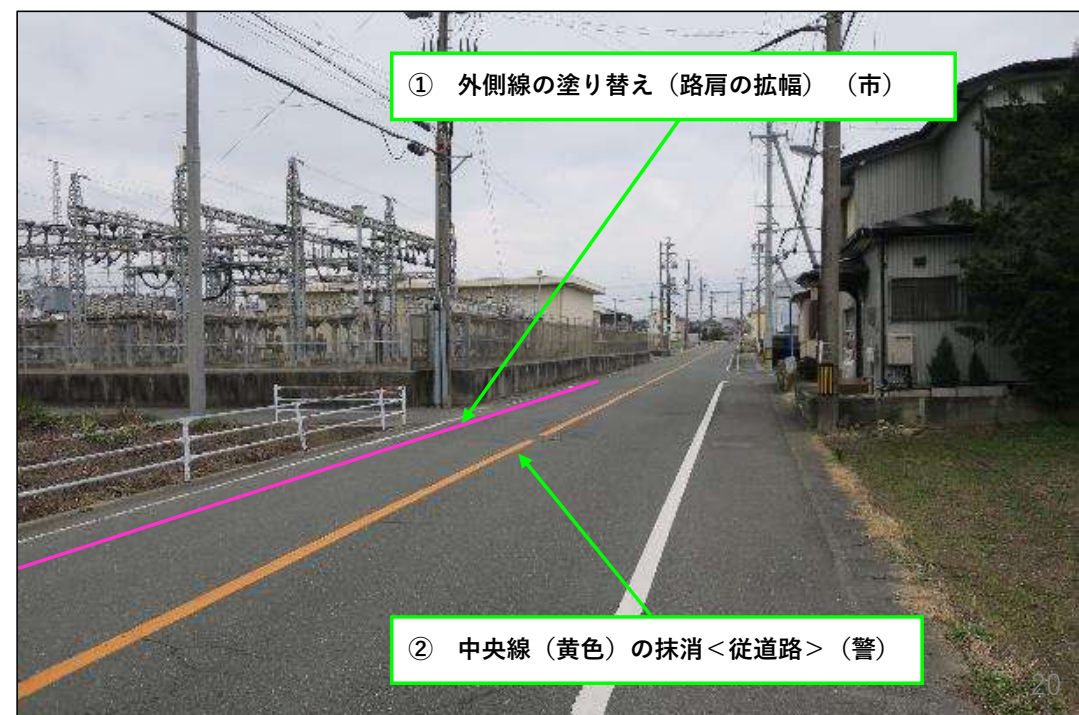
03 | 対策案の内容

① 大崎町天神前地内交差点

番号	対策 機関	対策内容	実施 可否	理由・代案	実施時期
1	市	外側線の塗り替え（路肩の拡幅）	○		R6.8予定
2	警	中央線（黄色）の抹消＜従道路＞	○		R6.8予定
3	市	誘導破線の設置	○		R6.8予定
4	警	一時停止標識をLED自発光式に変更	○		R6.8予定

03 対策案の内容

① 大崎町天神前地内交差点



現地調査実施箇所一覧

	実施箇所	選定理由（交差点の状況）	一時停止率が低い方向
①	おおさきちょうてんじんまえ 大崎町天神前地内交差点	・東三河環状線開通（R5.5.30～）に伴い、当該交差点の信号機が撤去され、東西道路が一時停止路線となった。 ・上記の影響なのか、直近3か月の中で5回事故が発生。	東 → 西
②	い な ちょうぬいどの 伊奈町縫殿地内交差点	・小坂井西小学校の通学路に指定されており、朝の時間帯（6時～9時）大勢の児童が通学している。	東 → 西
③	やわたちょうや ご ろう 八幡町弥五郎地内交差点	・東三河環状線から豊川市民病院、イオンモール豊川、八幡駅へ向かう車が増加している。 ・主要地方道国府馬場線（姫街道）へ抜ける道で利用が増えている。	西 → 東
④	かな や ちょう 金屋町地内交差点	・付近に大型商業施設があり、通過車両が多い。 ・4方向中、3方向が一時停止の規制となっている。 ・過去に車の単独事故あり	東 → 西 西 → 東 北 → 南
⑤	まさおかちょうながれた 正岡町流田地内交差点	・数年前に開店した複合商業施設駐車場に出入りする車が休日に多く、交差点付近が混雑する。 ・筋違いの交差点となっている。 ・特別な交差点安全対策はない。 ・過去に車と車の出会い頭の事故あり	南 → 北 北 → 南

対策の実施予定について

豊川市





02 | 選定理由と一時停止率データ

② 伊奈町縫殿地内交差点

選定理由

- ・小坂井西小学校の**通学路**に指定されており、朝の時間帯（6時～9時）**大勢の児童が通学**している。

○通学路として小学生が281人通行する交差点である。

- ・北側→西側 219人
- ・東側→西側 62人

02 | 選定理由と一時停止率データ

② 伊奈町縫殿地内交差点

一時停止率データ

方 向 東 → 西

期 間 2022年 8月 ~ 2023年 7月 (1年間)

平日/土日祝 平日及び土日祝の両方



時間帯	通行台数	一時停止率
6 時 - 9 時	19,800 台	38.6 %
9 時 - 16 時	49,200 台	41.2 %
16 時 - 20 時	34,690 台	41.8 %
20 時 - 6 時	3,630 台	24.8 %
全体	107,320 台	40.4 %

03 対策案の内容

② 伊奈町縫殿地内交差点

番号	対策 機関	対策内容	実施 可否	理由・代案	実施時期
1	市	止まれ（路面標示）を赤で囲み強調	○		R6.8予定
2	警	一時停止標識（大型）を撤去、 路側に一時停止標識を設置	○		R6.8予定
3	警	横断歩道の塗りなおし	○		R6.8予定
4	警	ダイヤモンドの塗りなおし	○		R6.8予定
5	警	停止線の位置調整	○		R6.8予定
6	市	外側線の塗りなおし	○		R6.8予定
7	市	交差点南東のコーナーの角度変更	○		R6.8予定
8	市	誘導破線の設置	○		R6.8予定
9	市	交差点マーク（T字）の設置	○		R6.8予定



03 対策案の内容

② 伊奈町縫殿地内交差点

⑤ 停止線の位置を下げる（警）

⑦ 交差点南東のコーナーの角度変更（市）

⑧ 誘導破線の設置（市）

⑨ 交差点マーク（T字）の設置（市）

⑥ 外側線の塗り直し（市）



現地調査実施箇所一覧

	実施箇所	選定理由（交差点の状況）	一時停止率が低い方向
①	おおさきちょうてんじんまえ 大崎町天神前地内交差点	・東三河環状線開通（R5.5.30～）に伴い、当該交差点の信号機が撤去され、東西道路が一時停止路線となった。 ・上記の影響なのか、直近3か月の中で5回事故が発生。	東 → 西
②	い な ちょうぬいどの 伊奈町縫殿地内交差点	・小坂井西小学校の通学路に指定されており、朝の時間帯（6時～9時）大勢の児童が通学している。	東 → 西
③	やわたちょうや ご ろう 八幡町弥五郎地内交差点	・東三河環状線から豊川市民病院、イオンモール豊川、八幡駅へ向かう車が増加している。 ・主要地方道国府馬場線（姫街道）へ抜ける道で利用が増えている。	西 → 東
④	かな や ちょう 金屋町地内交差点	・付近に大型商業施設があり、通過車両が多い。 ・4方向中、3方向が一時停止の規制となっている。 ・過去に車の単独事故あり	東 → 西 西 → 東 北 → 南
⑤	まさおかちょうながれた 正岡町流田地内交差点	・数年前に開店した複合商業施設駐車場に出入りする車が休日に多く、交差点付近が混雑する。 ・筋違いの交差点となっている。 ・特別な交差点安全対策はない。 ・過去に車と車の出会い頭の事故あり	南 → 北 北 → 南

対策の実施予定について

豊川市





02 | 選定理由と一時停止率データ

③ 八幡町弥五郎地内交差点

選定理由

- ・ 東三河環状線から豊川市民病院、イオン豊川店、八幡駅へ向かう車が増加している。
- ・ 主要地方道国府馬場線（姫街道）へ抜ける道で利用が増えている。

○イオン豊川店 オープン（2023年4月1日）以前、以降の交通量を比較すると、
約1.5倍に交通量が増えている状況。一時停止率はほぼ変わらない状況。

02 | 選定理由と一時停止率データ

③ 八幡町弥五郎地内交差点

一時停止率データ

方 向

西 → 東

期 間

2022年 8月 ~ 2023年 7月 (1年間)

平日/土日祝

平日及び土日祝の両方



時間帯	通行台数	一時停止率
6 時 - 9 時	38,660 台	45.5 %
9 時 - 16時	117,380 台	52.7 %
16時 - 20時	67,300 台	53.8 %
20時 - 6 時	22,980 台	29.5 %
全体	246,320 台	49.7 %

※参考

平日/土日祝 土日祝のみ

時間帯	通行台数	一時停止率
6 時 - 9 時	7,060 台	37.7 %
9 時 - 16時	45,320 台	51.7 %
16時 - 20時	21,250 台	52.3 %
20時 - 6 時	7,130 台	31.8 %
全体	80,760 台	48.9 %

03 | 対策案の内容

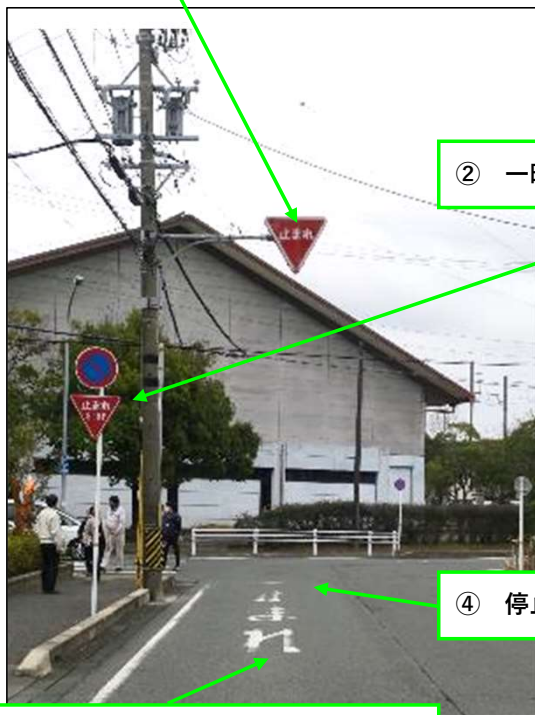
③ 八幡町弥五郎地内交差点

番号	対策 機関	対策内容	実施可否	理由・代案	実施時期
1	警	一時停止標識（大型）の撤去	○		R6.8予定
2	警	一時停止標識の更新	○		R6.8予定
3	警	止まれ（路面標示）の塗り直し	○		R6.8予定
4	警	停止線の塗り直し	○		R6.8予定
5	警	横断歩道の塗り直し	○		R6.8予定
6	市	誘導破線の設置	○	警察による工事に合わせて施工する予定で調整中	R6.8予定
7	市	交差点南西コーナーの角度変更	○	警察による工事に合わせて施工する予定で調整中	R6.8予定
8	市	交差点マーク（T字）の設置	○	警察による工事に合わせて施工する予定で調整中	R6.8予定

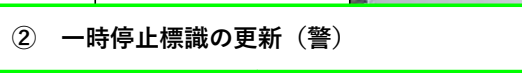
03 対策案の内容

③ 八幡町弥五郎地内交差点

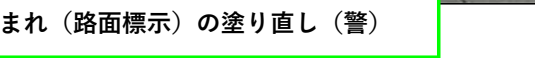
① 一時停止標識（大型）の撤去（警）



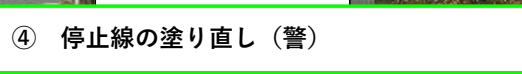
② 一時停止標識の更新（警）



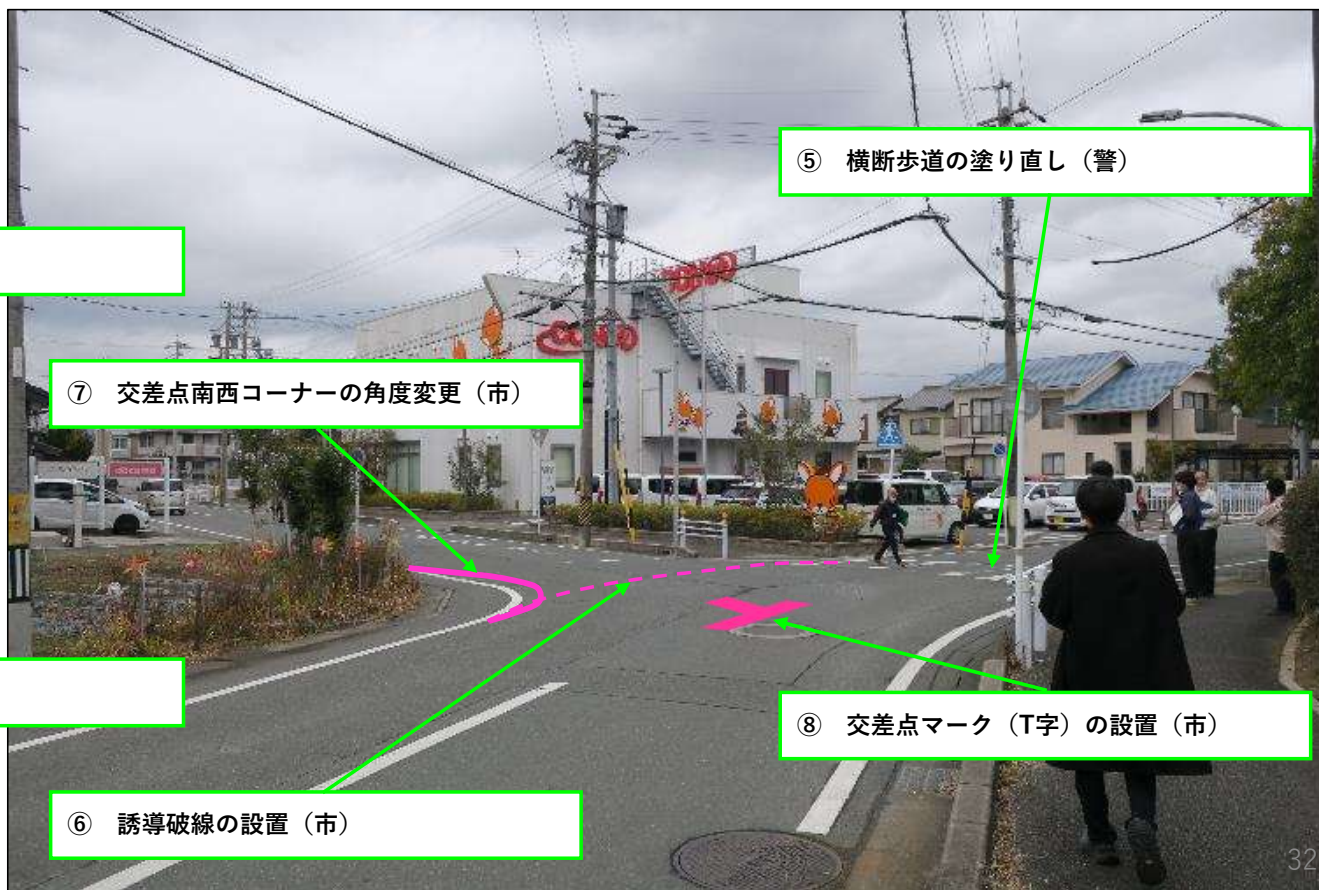
③ 止まれ（路面標示）の塗り直し（警）



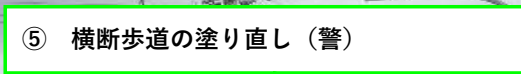
④ 停止線の塗り直し（警）



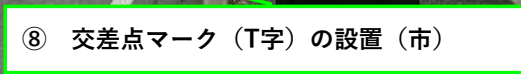
⑦ 交差点南西コーナーの角度変更（市）



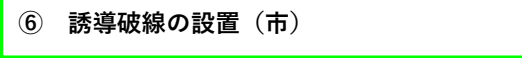
⑤ 横断歩道の塗り直し（警）



⑧ 交差点マーク（T字）の設置（市）



⑥ 誘導破線の設置（市）



現地調査実施箇所一覧

	実施箇所	選定理由（交差点の状況）	一時停止率が低い方向
①	おおさきちょうてんじんまえ 大崎町天神前地内交差点	・東三河環状線開通（R5.5.30～）に伴い、当該交差点の信号機が撤去され、東西道路が一時停止路線となった。 ・上記の影響なのか、直近3か月の中で5回事故が発生。	東 → 西
②	い な ちょうぬいどの 伊奈町縫殿地内交差点	・小坂井西小学校の通学路に指定されており、朝の時間帯（6時～9時）大勢の児童が通学している。	東 → 西
③	やわたちょうや ご ろう 八幡町弥五郎地内交差点	・東三河環状線から豊川市民病院、イオンモール豊川、八幡駅へ向かう車が増加している。 ・主要地方道国府馬場線（姫街道）へ抜ける道で利用が増えている。	西 → 東
④	かな や ちょう 金屋町地内交差点	・付近に大型商業施設があり、通過車両が多い。 ・4方向中、3方向が一時停止の規制となっている。 ・過去に車の単独事故あり	東 → 西 西 → 東 北 → 南
⑤	まさおかちょうながれた 正岡町流田地内交差点	・数年前に開店した複合商業施設駐車場に出入りする車が休日に多く、交差点付近が混雑する。 ・筋違いの交差点となっている。 ・特別な交差点安全対策はない。 ・過去に車と車の出会い頭の事故あり	南 → 北 北 → 南

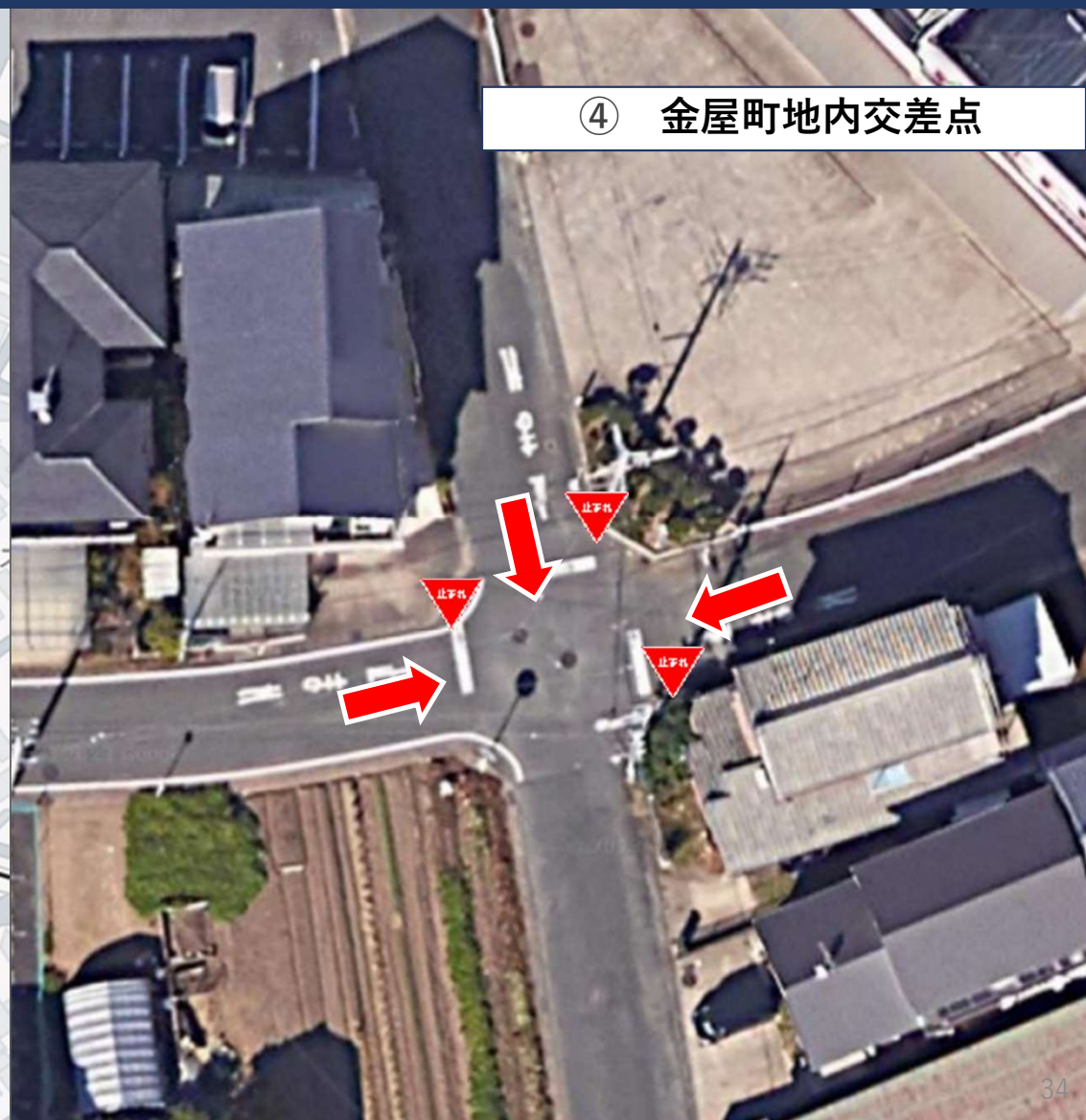


01

位置



④ 金屋町地内交差点





02 | 選定理由と一時停止率データ

④ 金屋町地内交差点

選定理由

- ・ 付近に大型商業施設があり、通過車両が多い。
- ・ 4方向中、3方向が一時停止の規制となっている。
- ・ 過去に車の単独事故あり

※過去の車の単独事故の詳細は不明
朝から夜にかけてほぼすべての時間帯で一時停止率が低い。

02 | 選定理由と一時停止率データ

一時停止率データ

期 間 2022年 8月 ~ 2023年 7月 (1年間)

平日/土日祝 平日及び土日祝の両方

方 向 西 → 東

時間帯	通行台数	一時停止率
6 時 - 9 時	1,600 台	25.0 %
9 時 - 16 時	21,950 台	38.3 %
16 時 - 20 時	11,070 台	32.4 %
20 時 - 6 時	1,320 台	33.3 %
全体	35,940 台	35.7 %



④ 金屋町地内交差点

方 向 北 → 南

時間帯	通行台数	一時停止率
6 時 - 9 時	1440 台	32.6 %
9 時 - 16 時	11,020 台	31.9 %
16 時 - 20 時	5,500 台	31.6 %
20 時 - 6 時	1,380 台	44.9 %
全体	19,340 台	32.8 %

方 向 東 → 西

時間帯	通行台数	一時停止率
6 時 - 9 時	720 台	23.6 %
9 時 - 16 時	31,510 台	23.7 %
16 時 - 20 時	7,950 台	24.7 %
20 時 - 6 時	200 台	80.0 %
全体	40,380 台	24.1 %

03 | 対策案の内容

④ 金屋町地内交差点

番号	対策 機関	対策内容	実施 可否	理由・代案	実施時期
1	警	一時停止規制の廃止	○		R6.8予定
2	警	止まれ（路面標示）の塗り直し	○		R6.8予定
3	警	止まれ（路面標示）の強調表示の設置	○		R6.8予定
4	市	交差点マーク（十字）の設置	○		R6.8予定
5	市	交差点部に外側線を設置	○		R6.8予定
6	市	停止指導線の設置＜北進＞	○		R6.8予定
7	市	（カーブミラーの向き調整）	○		R6.8予定

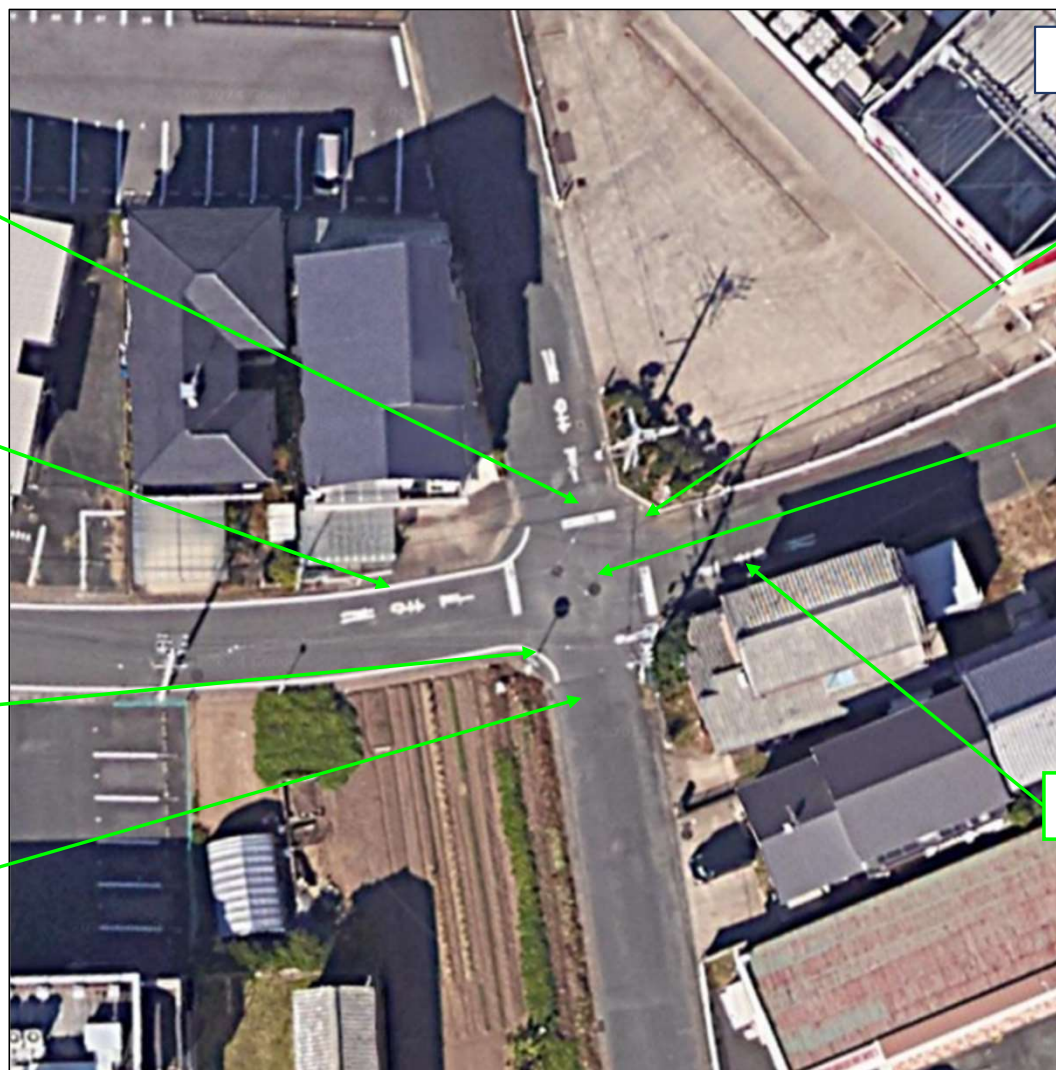
03 対策案の内容

① 一時停止規制の廃止（警）

② 止まれ（路面標示）の塗り直し（警）

⑦ カーブミラーの向き調整（市）

⑥ 停止指導線の設置＜北進＞（市）



④ 金屋町地内交差点

⑤ 交差点部に外側線を設置（市）

④ 交差点マーク（十字）の設置（市）

③ 止まれ（路面標示）の強調表示の設置（警）

現地調査実施箇所一覧

	実施箇所	選定理由（交差点の状況）	一時停止率が低い方向
①	おおさきちょうてんじんまえ 大崎町天神前地内交差点	・東三河環状線開通（R5.5.30～）に伴い、当該交差点の信号機が撤去され、東西道路が一時停止路線となった。 ・上記の影響なのか、直近3か月の中で5回事故が発生。	東 → 西
②	い な ちょうぬいどの 伊奈町縫殿地内交差点	・小坂井西小学校の通学路に指定されており、朝の時間帯（6時～9時）大勢の児童が通学している。	東 → 西
③	やわたちょうや ご ろう 八幡町弥五郎地内交差点	・東三河環状線から豊川市民病院、イオンモール豊川、八幡駅へ向かう車が増加している。 ・主要地方道国府馬場線（姫街道）へ抜ける道で利用が増えている。	西 → 東
④	かな や ちょう 金屋町地内交差点	・付近に大型商業施設があり、通過車両が多い。 ・4方向中、3方向が一時停止の規制となっている。 ・過去に車の単独事故あり	東 → 西 西 → 東 北 → 南
⑤	まさおかちょうながれた 正岡町流田地内交差点	・数年前に開店した複合商業施設駐車場に出入りする車が休日に多く、交差点付近が混雑する。 ・筋違いの交差点となっている。 ・特別な交差点安全対策はない。 ・過去に車と車の出会い頭の事故あり	南 → 北 北 → 南

対策の実施予定について

豊川市



01 | 位置



⑤ 正岡町流田地内交差点





02 | 選定理由と一時停止率データ

⑤ 正岡町流田地内交差点

選定理由

- ・数年前に開店した複合商業施設駐車場に出入りする車が休日に多く、交差点付近が混雑する。
- ・筋違いの交差点となっている。
- ・特別な交差点安全対策はない。
- ・**過去に車と車の出会い頭の事故あり**

※過去の事故情報の詳細は不明
南から北方向は、すべての時間帯で一時停止率が低い。

02 | 選定理由と一時停止率データ

一時停止率データ

期 間	2022年 8月 ~ 2023年 7月 (1年間)
平日/土日祝	平日及び土日祝の両方



⑤ 正岡町流田地内交差点

方向 北 → 南		
時間帯	通行台数	一時停止率
6 時 - 9 時	1,760 台	29.5 %
9 時 - 16 時	117,860 台	61.2 %
16 時 - 20 時	53,120 台	60.5 %
20 時 - 6 時	9,060 台	36.5 %
全体	181,800 台	59.4 %

方向 南 → 北		
時間帯	通行台数	一時停止率
6 時 - 9 時	890 台	23.6 %
9 時 - 16 時	149,910 台	39.3 %
16 時 - 20 時	62,170 台	35.9 %
20 時 - 6 時	7,260 台	27.7 %
全体	220,230 台	37.9 %

03 | 対策案の内容

⑤ 正岡町流田地内交差点

番号	対策 機関	対策内容	実施 可否	理由・代案	実施時期
1	警	一時停止標識の補修	○		R6.8予定
2	警	停止線の引き直し	○		R6.8予定
3	市	交差点マーク（T字）の設置	○		R6.8予定
4	市	停止指導線の引き直し	○		R6.8予定
5	市	外側線の塗り直し	○		R6.8予定
6	警	止まれ（路面標示）の強調表示の設置	○		R6.8予定
7	警	止まれ（路面標示）の塗り直し	○		R6.8予定



03 対策案の内容

⑤ 正岡町流田地内交差点

① 一時停止標識の補修（警）

② 停止線の引き直し（警）

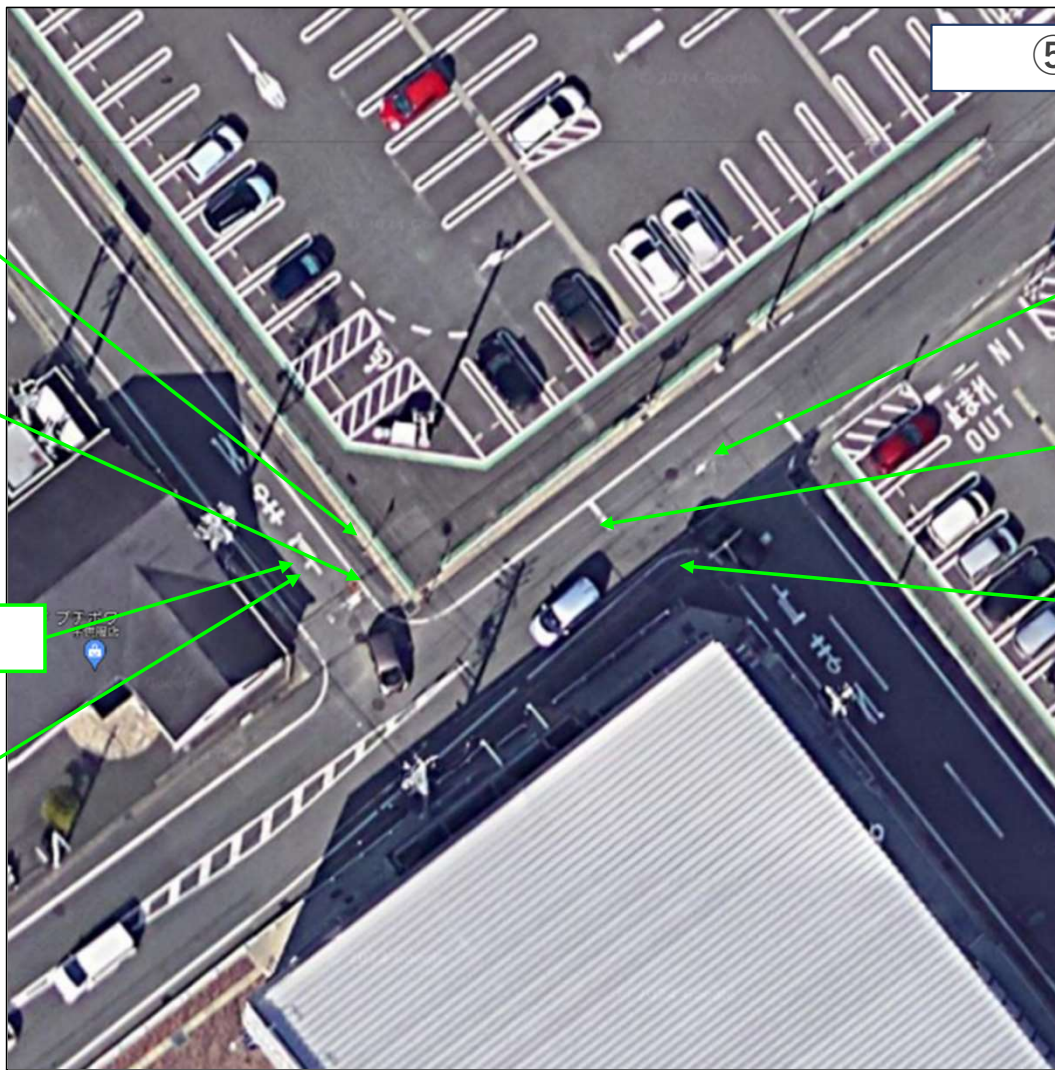
⑥ 止まれ（路面標示）の強調表示の設置（警）

⑦ 止まれ（路面標示）の塗り直し（警）

③ 交差点マーク（T字）の設置（市）

④ 停止指導線の引き直し（市）

⑤ 外側線の塗り直し（市）



東浦町

現地調査実施箇所一覧

	実施箇所	選定理由（交差点の状況）	一時停止率が低い方向
①	もりおかまえ だ 森岡前田地内交差点	・プローブ情報での一時停止率が悪く、通行台数も多いため	西 → 東
②	お がわ かりまた に く 緒川荻又二区地内交差点	・交通事故の発生件数が多い交差点であるため (H28 : 1 件 , H29 : 1 件 , H30 : 2 件 , R2 : 2 件 , R3 : 1 件 , R4 : 2 件)	東 → 西 西 → 東
③	お がわ に しか まい け 緒川西釜池地内交差点	・通り抜け車両が多く小学校の通学路に指定されている路線であるため ・地元区より車両の速度抑制及び一時停止対策の要望を受けていたため	南 → 北 北 → 南

対策の実施予定について

東浦町



01

位置



① 森岡前田地内交差点



02 選定理由と一時停止率データ

選定理由

- ・プローブ情報での一時停止率が悪く、通行台数も多いため。

- 東浦町都市計画マスタープランでは、現地調査候補箇所南部に主に地域内の交通を処理し、円滑かつ安全な道路環境を形成するための補助幹線道路として都市計画道路養父森岡線を位置付けているがまだ整備が完了していないため、**本町は東西のネットワークが弱い。**
- 現状、町道吉田線から町道森岡線に抜けるルートとして名古屋碧南線（**破線**）を通るルートと町道森岡22号線（**実線**）を通る**ルートが存在**する。
- 森岡駅西交差点がＪＲ武豊線に隣接していること及びＪＲ武豊線との交差が平面交差であることも影響し、**朝夕の通通勤時には、県道名古屋碧南線の森岡駅西交差点は右折待ちの車で渋滞**することが多々ある。
- その結果、**抜け道として駅前の生活道路である町道森岡22号線を利用**し町道森岡線へ抜ける車両が多く一時停止率が低いと考える。

① 森岡前田地内交差点



02 | 選定理由と一時停止率データ

① 森岡前田地内交差点

一時停止率データ

方 向 西 → 東

期 間 2022年 8月 ~ 2023年 7月 (1年間)

平日/土日祝 平日及び土日祝の両方



時間帯	通行台数	一時停止率
6 時 - 9 時	13,945 台	32.1 %
9 時 - 16 時	47,605 台	30.1 %
16 時 - 20 時	26,565 台	32.4 %
20 時 - 6 時	6,750 台	25.3 %
全体	94,865 台	30.7 %

03 | 対策案の内容

① 森岡前田地内交差点

番号	対策 機関	対策内容	実施 可否	理由・代案	実施時期
1	警	停止線のワイド化（30cm→45cm）	○		R6.8予定
2	警	一時停止標識の更新	○		R6.8予定
3	警	止まれ（路面標示）の強調表示の設置	○		R6.8予定
4	町	エスコートマークの設置	○		R7.1予定
5	町	交差点マーク（T字）の設置	○		R7.1予定
6	町	誘導破線の設置	×	東進右左折が実質2段階の停止となり、 停止線効果の低減が懸念されるため。 <補足> 今後、当交差点北西の駐車場に建物等が建設され、 見通しが悪くなった際の二次対策で検討する。	—

03 対策案の内容

① 停止線のワイド化 (30cm→45cm) (警)

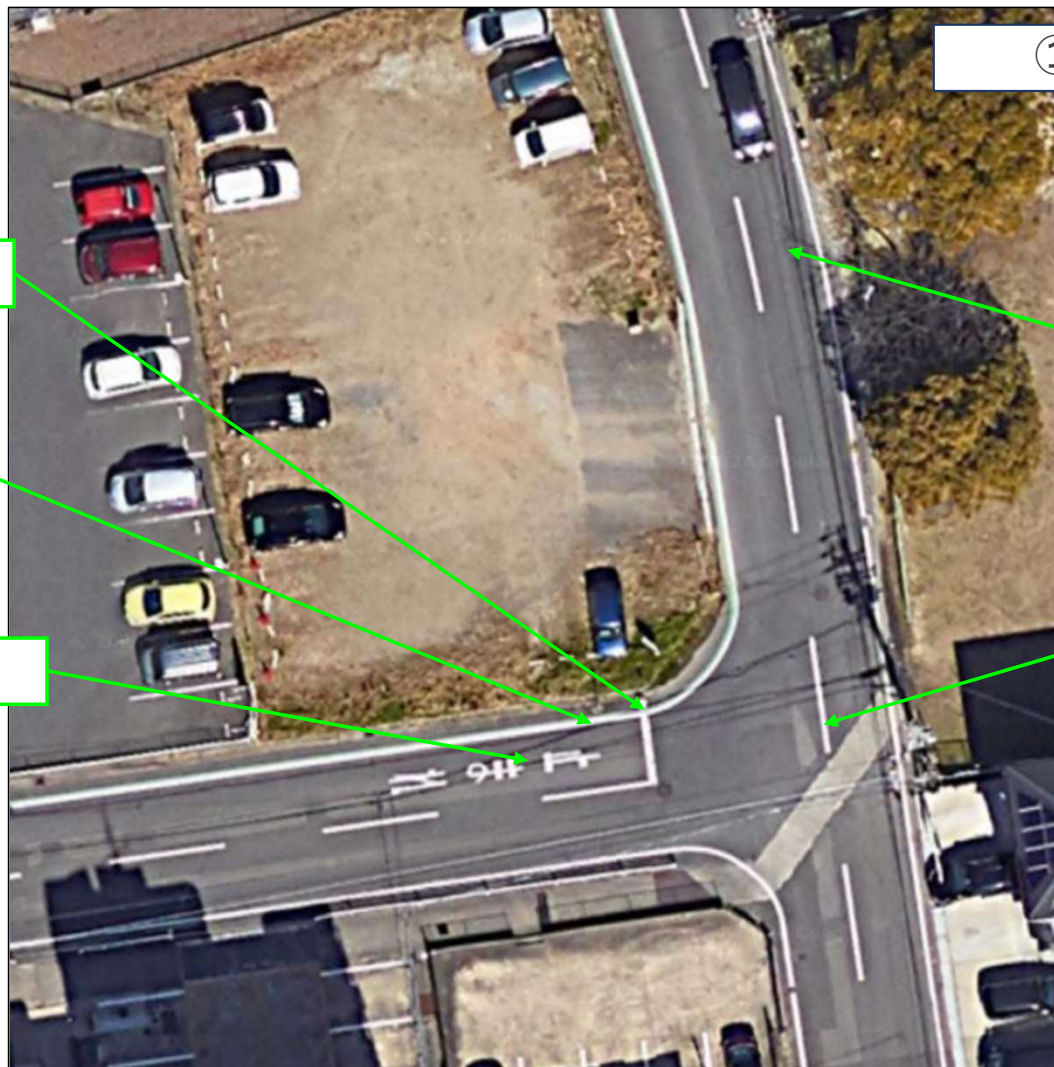
② 一時停止標識の更新 (警)

③ 止まれ (路面標示) の強調表示の設置 (警)

① 森岡前田地内交差点

④ エスコートマークの設置 (市)

⑤ 交差点マーク (T字) の設置 (市)



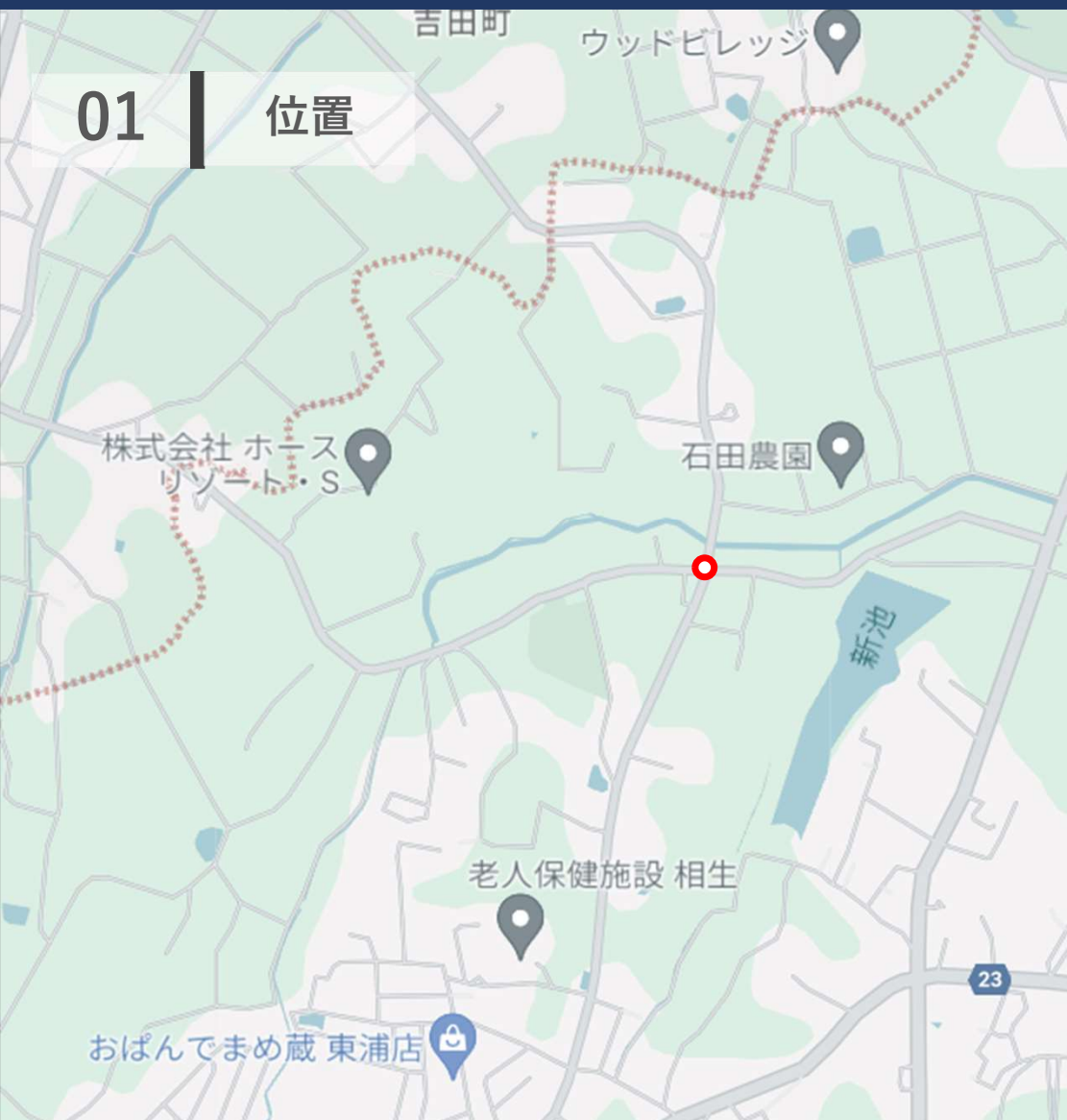
現地調査実施箇所一覧

	実施箇所	選定理由（交差点の状況）	一時停止率が低い方向
①	もりおかまえ だ 森岡前田地内交差点	・プローブ情報での一時停止率が悪く、通行台数も多いため	西 → 東
②	お がわ かりまた に く 緒川苅又二区地内交差点	・交通事故の発生件数が多い交差点であるため (H28 : 1 件, H29 : 1 件, H30 : 2 件, R2 : 2 件, R3 : 1 件, R4 : 2 件)	東 → 西 西 → 東
③	お がわ に しか まい け 緒川西釜池地内交差点	・通り抜け車両が多く小学校の通学路に指定されている路線であるため ・地元区より車両の速度抑制及び一時停止対策の要望を受けていたため	南 → 北 北 → 南

対策の実施予定について

東浦町 

01 | 位置



② 緒川苅又二区地内交差点



02 | 選定理由と一時停止率データ

② 緒川字苅又二区地内交差点

選定理由

- ・交通事故の発生件数が多い交差点であるため
(H28: 1 件, H29: 1 件, H30: 2 件, R2: 2 件, R3: 1 件, R4: 2 件)

- 東西を走る町道養父森岡線**は、大府市と本町を連絡する路線であり、幹線道路の位置付けてはいないが、車がすれ違うのに十分な幅員があるため、**通り抜けの車両が多い**。
- 現地調査候補箇所は、**南北を走る町道森岡276号線**と町道養父森岡線の信号のない交差点となり、町道森岡276号線は、アップダウンが多く、**速度超過した車両が多い**ため交通事故が多い。
- 今年度も**西進車両が交差点を左折時に南進する車両と接触する**事故が発生**している。

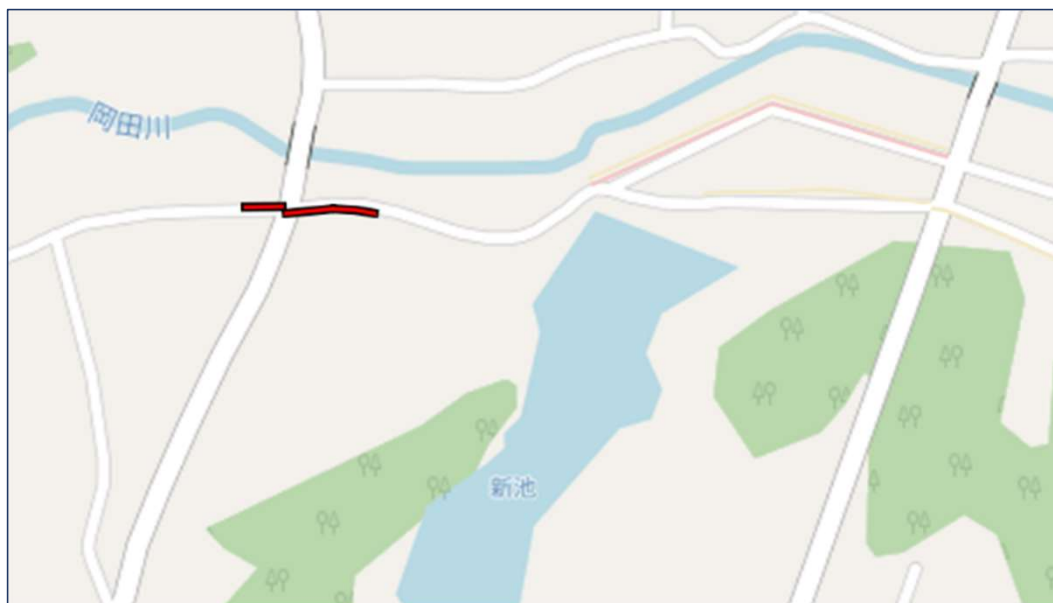


02 | 選定理由と一時停止率データ

一時停止率データ

期 間 2022年 8月 ~ 2023年 7月 (1年間)

平日/土日祝 平日及び土日祝の両方



② 緒川字苅又二区地内交差点

方向 東 → 西

時間帯	通行台数	一時停止率
6 時 - 9 時	18,340 台	45.5 %
9 時 - 16 時	51,000 台	49.3 %
16 時 - 20 時	68,300 台	52.3 %
20 時 - 6 時	15,250 台	31.7 %
全体	152,890 台	48.4 %

方向 西 → 東

時間帯	通行台数	一時停止率
6 時 - 9 時	27,480 台	72.9 %
9 時 - 16 時	24,320 台	67.4 %
16 時 - 20 時	12,450 台	67.1 %
20 時 - 6 時	5,050 台	35.4 %
全体	69,300 台	67.2 %

03 対策案の内容

② 緒川字苅又二区地内交差点

番号	対策 機関	対策内容	実施 可否	理由・代案	実施時期
1	町	道路鈺の更新	○		R6.10予定
2	警	停止線の塗り直し	○		R6.8予定
3	警	止まれ（路面標示）の塗り直し	○		R6.8予定
4	警	一時停止標識（大型）を撤去、 路側に一時停止標識を設置	○		R6年度中
5	町	交差点部に外側線を設置	○		R7.1予定
6	町	エスコートマークの設置	○		R7.1予定
7	町	交通安全灯をLEDに変更	○	9月10日までに実施予定	R6.10予定
8	町	ガードレールのガードパイプ化	×	地権者が遠方の方であるため、承諾を得るのが困難	—
9	町	交差点マーク（十字）の設置	○		R7.1予定

03 対策案の内容

② 緒川字苅又二区地内交差点

① 道路鋸の更新（市）

② 停止線の塗り直し（警）

③ 止まれ（路面標示）の塗り直し（警）

⑨ 交差点マーク（十字）の設置（市）

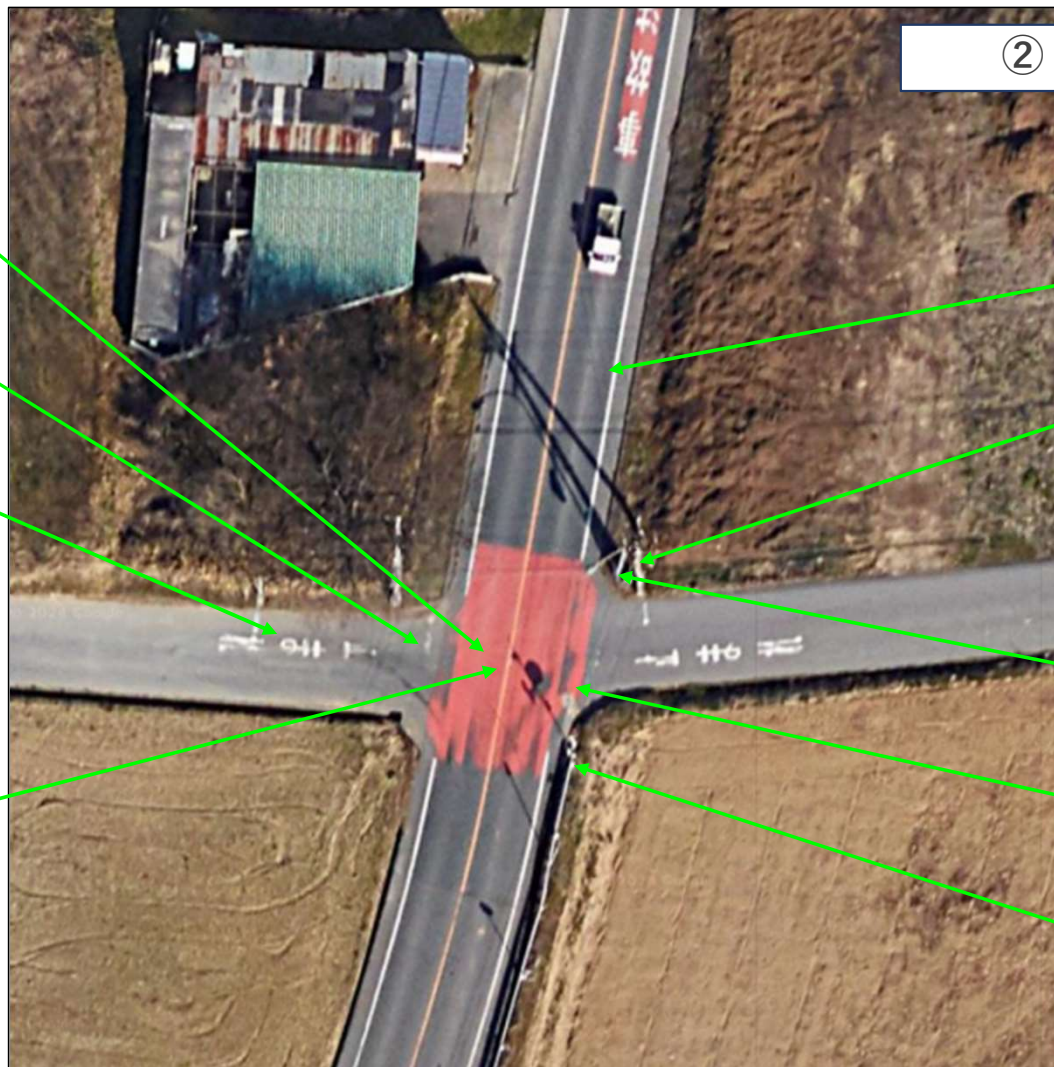
⑥ エスコートマークの設置（市）

④ 一時停止標識（大型）を撤去、
路側に一時停止標識を設置（警）

⑦ 交通安全灯をLEDに変更（市）

⑤ 交差点部に外側線を設置（市）

⑧ ガードレールのガードパイプ化（市）

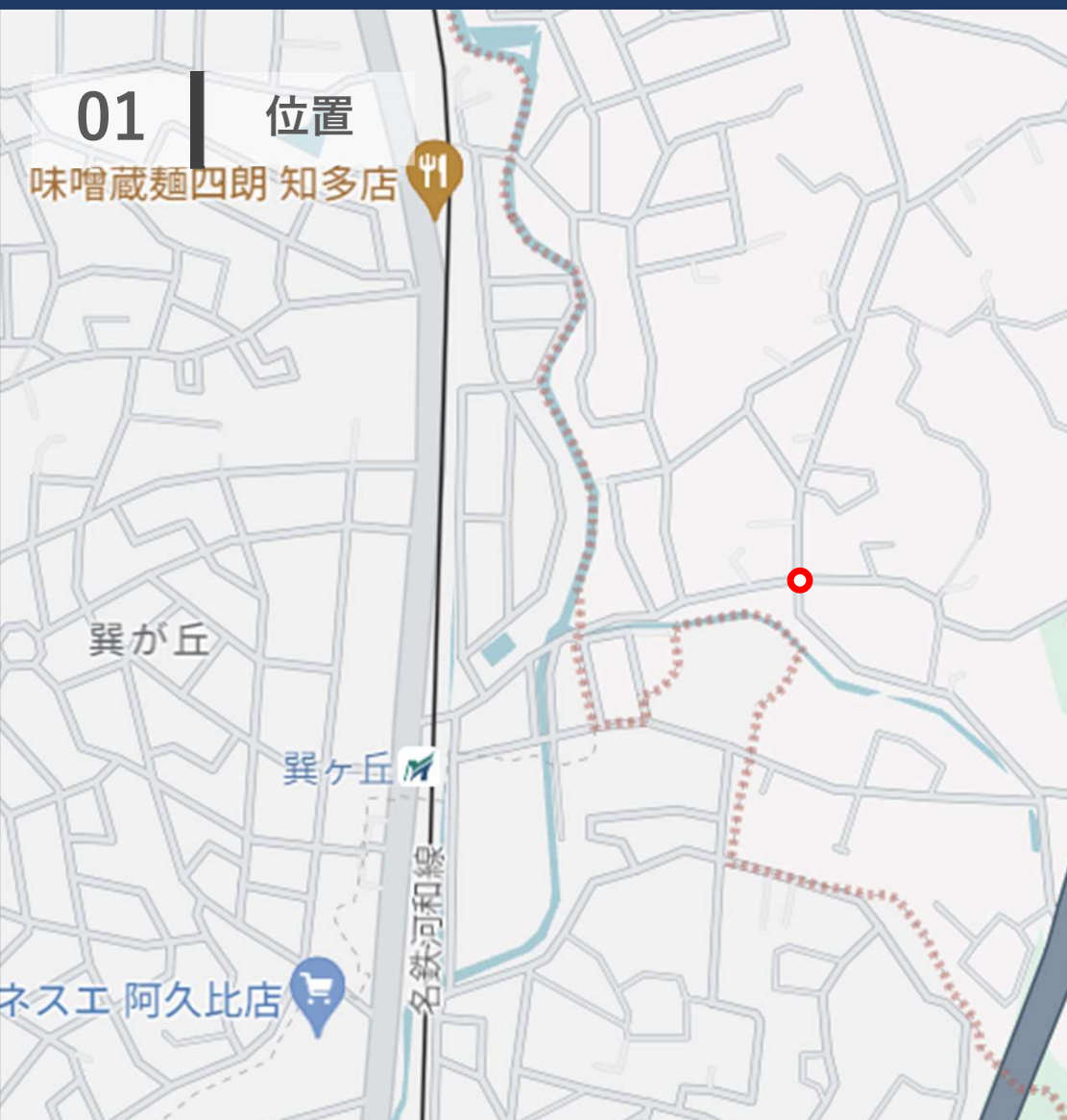


現地調査実施箇所一覧

	実施箇所	選定理由（交差点の状況）	一時停止率が低い方向
①	もりおかまえ だ 森岡前田地内交差点	・プローブ情報での一時停止率が悪く、通行台数も多いため	西 → 東
②	お がわ かりまた に く 緒川荻又二区地内交差点	・交通事故の発生件数が多い交差点であるため (H28 : 1 件 , H29 : 1 件 , H30 : 2 件 , R2 : 2 件 , R3 : 1 件 , R4 : 2 件)	東 → 西 西 → 東
③	お がわ に しか まい け 緒川西釜池地内交差点	・通り抜け車両が多く小学校の通学路に指定されている路線であるため ・地元区より車両の速度抑制及び一時停止対策の要望を受けていたため	南 → 北 北 → 南

対策の実施予定について

東浦町 



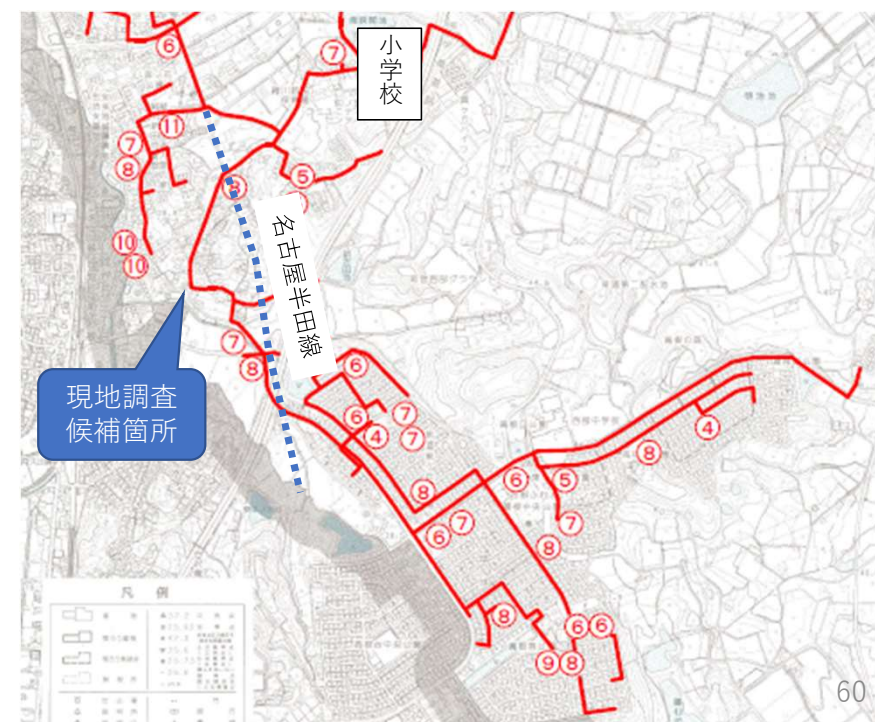
02 | 選定理由と一時停止率データ

選定理由

- ・ 通り抜け車両が多く小学校の通学路に指定されている路線であるため
- ・ 地元区より車両の速度抑制及び一時停止対策の要望を受けていたため

- 東浦町都市計画マスタープランでは都市計画道路**名古屋半田線**は、東海市、阿久比町、半田市及び本町にまたがる知多半島の幹線道路で、名古屋市を含む広域的な連携を強化する**主要幹線道路**として位置付けており順次整備が進められているが、現地町内の**約2.4キロメートルは整備途中**である。そのため、現状は**生活道路に通過車両が流入**している。
- また、小学校が隣接しているため調査候補箇所として挙げた**町道釜池雁狭間山線**は、通学路に指定されてはいるものの**通行車両が多いため、地元区より交通安全対策の要望を受けている**。
- 当該路線は基本的に南北が優先となっているが、現地調査候補箇所は東西の通りが優先となるため、一時停止率が低いと考えられる。

③ 緒川字西釜池地内交差点

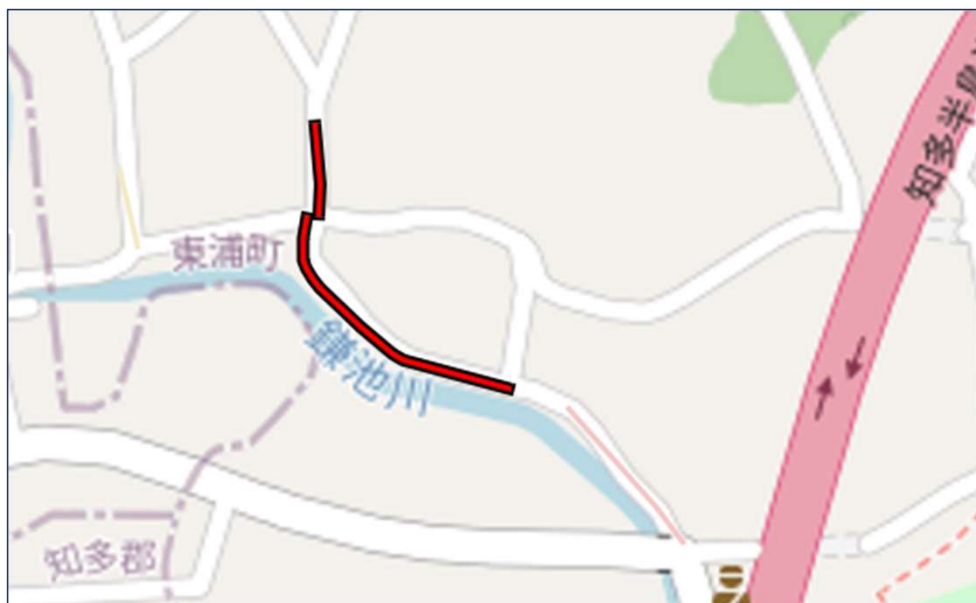


02 | 選定理由と一時停止率データ

一時停止率データ

期 間 2022年 8月 ~ 2023年 7月 (1年間)

平日/土日祝 平日及び土日祝の両方



③ 緒川字西釜池地内交差点

方向 北 → 南

時間帯	通行台数	一時停止率
6 時 - 9 時	17,450 台	53.8 %
9 時 - 16 時	52,840 台	47.5 %
16 時 - 20 時	44,640 台	47.0 %
20 時 - 6 時	17,230 台	31.5 %
全体	132,160 台	46.1 %

方向 南 → 北

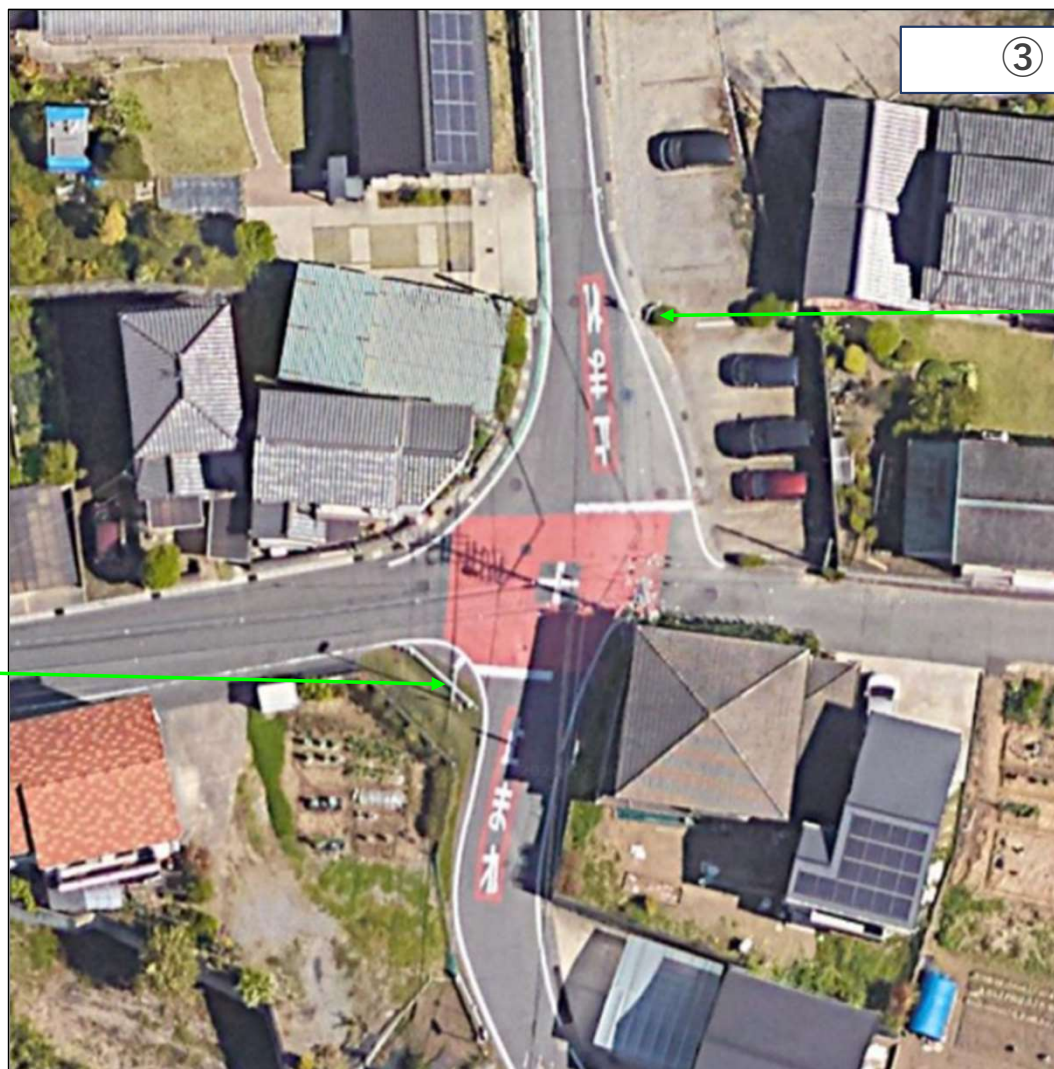
時間帯	通行台数	一時停止率
6 時 - 9 時	19,100 台	59.8 %
9 時 - 16 時	35,160 台	66.7 %
16 時 - 20 時	22,950 台	66.6 %
20 時 - 6 時	10,200 台	35.9 %
全体	87,410 台	61.6 %

03 | 対策案の内容

③ 緒川字西釜池地内交差点

番号	対策 機関	対策内容	実施 可否	理由・代案	実施時期
1	警	一時停止標識の更新（＋速度制限標識と一本化）	○		R6.8予定
2	警	一時停止標識の更新（＋南側に移動）	○		R6.8予定

03 対策案の内容



③ 緒川字西釜池地内交差点

① 一時停止標識の更新
(+ 速度制限標識と一本化) (警)

② 一時停止標識の更新
(+ 南側に移動) (警)

1. プローブ情報活用ワーキンググループの概要

2. 取組状況

【1年目】 取組の流れについて（知立市・蒲郡市）

【2年目】 対策の実施予定について（豊川市・東浦町）



【3年目】 対策の実施状況について（春日井市）

(1) 経緯

令和4年度

- ・ プローブデータを抽出し、豊橋技術科学大学 松尾准教授の協力のもと、道路管理者等と対策候補箇所を検討。
- ・ 現地調査を実施し、具体的な対策内容を決定。

第1回プローブ情報活用ワーキンググループ会議（R4.8.23）

トヨタ自動車株式会社のプローブデータ（リンク情報の通過量と速度分布とABSの情報）及び豊橋技術科学大学の モービルアイのデータ（歩行者衝突警報）のデータを活用し、豊橋技術科学大学 松尾准教授の協力のもと、自治体の道路管理者等と現地調査候補箇所を検討。

第2回プローブ情報活用ワーキンググループ会議（R4.12.19）

現地調査箇所（5箇所）を決定。

現地調査（R5.2.13）

具体的な対策内容を検討。

第3回プローブ情報活用ワーキンググループ会議（R5.3.10）

現地調査の結果及び対策内容を報告。

- ・ モービルアイの歩行者衝突警報の発生数が少ないため、効果的な効果検証が実施できない。
 - ・ モービルアイの歩行者衝突警報の発生率などを考慮し抽出した上位危険地点が、日頃市民から寄せられるご意見や道路対策要望箇所ではない。
- モービルアイのデータ（歩行者衝突警報）を本WGで活用する方針を取り止め、トヨタ自動車(株)のプローブデータを活用する従来のやり方で、現地調査候補箇所を選定。

令和5・6年度

- ・ 春日井市道路管理者・愛知県警察本部交通規制課 等による交通安全対策を実施中。

令和7年度

- ・ プローブデータを分析し、効果検証を実施予定。

対策の実施状況について

春日井市

- ① 下原町八田川付近市道
- ② 牛山町天神橋付近市道
- ③ 坂下町2丁目地内交差点
- ④ 美濃町3丁目地内交差点
- ⑤ 松本町2丁目付近市道



対策実施箇所

	対策実施予定箇所	選定理由	特記事項
①	しもはらちょうはったがわ 下原町八田川付近市道	30km/h規制。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。車のスピードが速い。	30km/h超過率が高い。 通過台数が多い。
②	うしやまちょう 牛山町天神橋付近市道	速度規制なし。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。車のスピードが速い。通学路。	ABS発生率が高い。 通過台数は少ない。
③	さかしたちょう 坂下町2丁目地内交差点	40km/h規制。県道～国道の主要道路。幅員が狭い。 通学路（横断歩道）。横断歩道で車が止まらない。	近隣道路において、ABS発生率 が高い。（北西進道路）
④	みのちょう 美濃町3丁目地内交差点	30km/h規制。事故多発（車両同士）。 安全対策の要望が多い。	近隣道路において、30km/h 超過率が高い。（南北道路）
⑤	まつもとちょう 松本町2丁目付近市道	30km/h規制。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。大学生・高校生の自転車が多い。 地元から、当路線の対策（通過する車の量を減らす、 北側の県道に迂回させる）を求められている。	通過台数が多い。（西進道路） 交通事故が多発している

対策の実施状況について

春日井市

01 | 位置



① 下原町八田川付近市道



02 対策の内容と実施状況

① 下原町八田川付近市道

番号	対策 機関	対策内容	実施 可否	理由・代案	実施時期 (予定/済)	実施状況
1	市	直線道路においてポストコーン設置によるクランク型の狭さく（場所は地元と調整）	×	物理的デバイスはゾーン30プラスの区域に設置する方針。 今回の対策としては不可。	—	実施なし
2	警	交差点の明示化のため「一時停止」標識の位置調整 （事故多発交差点）	○		R6.2	実施済
3	市	外側線の巻き込み線を塗る（事故多発交差点）	○	状況により、不可。（横断歩道の移設状況による）	R6.9予定	実施予定
4	市	交差点マークの設置（事故多発交差点）	○		R6.9予定	実施予定
5	警	横断歩道の規制標識の移設（事故多発交差点）	○		R6.2	実施済
6	警	横断歩道が交差点に被らないよう北東側へ移設 （事故多発交差点）	△	移設ではなく、幅を短縮	R6.2	実施済
7	県	小回り対策として誘導破線やカラー舗装等の路面表示 を設置	×	当交差点は、死傷事故率が低く、カラー舗装等の対策を実施する要件に当 てはまらないため、不可。	—	実施なし
		（下原町交差点）		なお、本対策は、交差点部の事故削減には効果的だが、市道進入後の速度 抑制対策の効果が薄いことから、別途市道側での対策が効果的と思われる。		
8	市	スムーズ横断歩道化（事故多発交差点）	×	物理的デバイスはゾーン30プラスの区域に設置する方針。 今回の対策としては不可。	—	実施なし
9	市	自転車を対象とする「交差点あり」等の注意看板の設 置（事故多発交差点・従道路側）	○		R6.3	実施済
10	市	側溝のフタの修繕	△	調査し、どの箇所が修繕が必要か検討	R6.3	実施済
11	市	ガードレールによる狭さく化により抜け道利用を減ら し生活道路らしさを出す	×	物理的デバイスはゾーン30プラスの区域に設置する方針。 今回の対策としては不可。	—	実施なし
12	市	川沿いの遊歩道を歩行者・自転車が通行しやすいよう 整備（川に落ちないよう柵を立てる、街灯の設置な ど）	×	私有地の木が倒れており、交渉が難航	—	実施なし

① 下原町八田川付近市道

Before



After



対策実施箇所

	対策実施予定箇所	選定理由	特記事項
①	しもはらちょうはったがわ 下原町八田川付近市道	30km/h規制。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。車のスピードが速い。	30km/h超過率が高い。 通過台数が多い。
②	うしやまちょう 牛山町天神橋付近市道	速度規制なし。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。車のスピードが速い。通学路。	ABS発生率が高い。 通過台数は少ない。
③	さかしたちょう 坂下町2丁目地内交差点	40km/h規制。県道～国道の主要道路。幅員が狭い。 通学路（横断歩道）。横断歩道で車が止まらない。	近隣道路において、ABS発生率 が高い。（北西進道路）
④	みのちょう 美濃町3丁目地内交差点	30km/h規制。事故多発（車両同士）。 安全対策の要望が多い。	近隣道路において、30km/h 超過率が高い。（南北道路）
⑤	まつもとちょう 松本町2丁目付近市道	30km/h規制。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。大学生・高校生の自転車が多い。 地元から、当路線の対策（通過する車の量を減らす、 北側の県道に迂回させる）を求められている。	通過台数が多い。（西進道路） 交通事故が多発している

対策の実施状況について

春日井市

01 | 位置



② 牛山町天神橋付近市道



02 対策の内容と実施状況

② 牛山町天神橋付近市道

番号	対策機関	対策内容	実施可否	理由・代案	実施時期	実施状況
1	市	広報板・物置の移設による見通しの確保（郷中公会堂前交差点西）	×	地元から要望があれば、その時に検討。	—	実施なし
2	市	外側線の設置（グリーンベルトのみの箇所）	○		R6.9	実施予定
3	市	グリーンベルトが途切れている部分（電柱付近）を塗る	×	グリーンベルトは、ドライバーに対するスピード抑制の意味合いが強いと考えており、また、施工手間も考慮し、同様の区間については省いて施工している。	—	実施なし
4	市	歩行者・自転車の安全のため道路の凹みの修繕	△	部分的に舗装修繕（R5.12）	R5.12	実施済
5	警	30km/h規制をかける	×	道路幅員、形状的に安全速度での走行が妥当である	—	実施なし
6	市	ポストコーンを設置し、カーブミラーでは確認できない箇所の歩行者・自転車を守る（郷中公会堂前交差点東）	×	地元から要望があれば、その時に検討。	—	実施なし
7	市	グリーンベルトが切れているところで幅員が狭まり、自転車等が急にクルマの前方に来る可能性があるため、注意を促す（踏切手前）	○	外側線に対応	R6.2	実施済

西進

Before



② 牛山町天神橋付近市道

After



⑦ グリーンベルトが切れているところで幅員が狭まり、自転車等が急にクルマの前方に来る可能性があるため、注意を促す（踏切手前）（市）

対策実施箇所

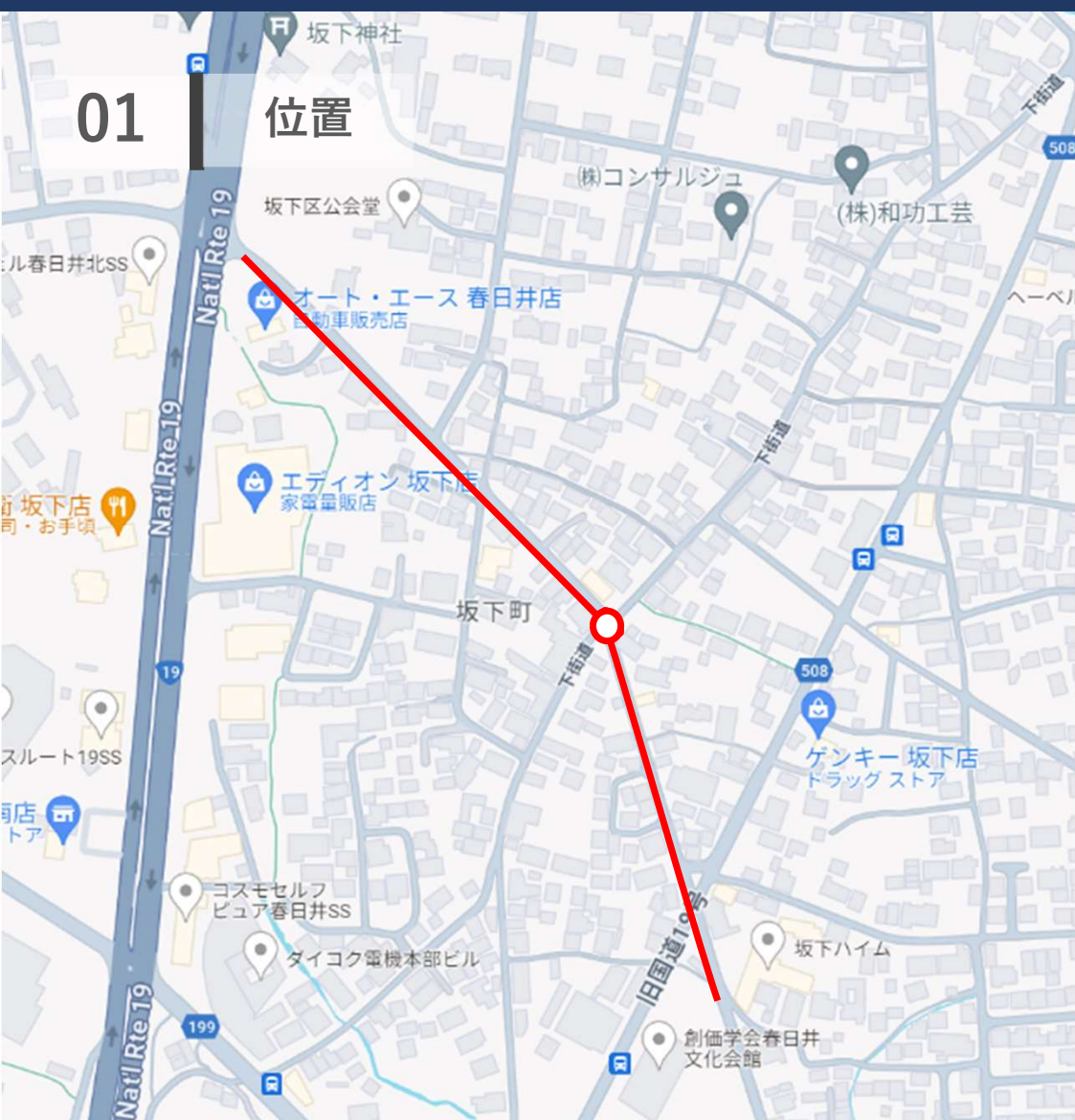
	対策実施予定箇所	選定理由	特記事項
①	しもはらちょうはったがわ 下原町八田川付近市道	30km/h規制。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。車のスピードが速い。	30km/h超過率が高い。 通過台数が多い。
②	うしやまちょう 牛山町天神橋付近市道	速度規制なし。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。車のスピードが速い。通学路。	ABS発生率が高い。 通過台数は少ない。
③	さかしたちょう 坂下町2丁目地内交差点	40km/h規制。県道～国道の主要道路。幅員が狭い。 通学路（横断歩道）。横断歩道で車が止まらない。	近隣道路において、ABS発生率 が高い。（北西進道路）
④	みのちょう 美濃町3丁目地内交差点	30km/h規制。事故多発（車両同士）。 安全対策の要望が多い。	近隣道路において、30km/h 超過率が高い。（南北道路）
⑤	まつもとちょう 松本町2丁目付近市道	30km/h規制。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。大学生・高校生の自転車が多い。 地元から、当路線の対策（通過する車の量を減らす、 北側の県道に迂回させる）を求められている。	通過台数が多い。（西進道路） 交通事故が多発している

対策の実施状況について

春日井市 

01

位置



③ 坂下町2丁目地内交差点



02 対策の内容と実施状況

③ 坂下町2丁目地内交差点

番号	対策機関	回答いただいた対策内容	実施可否	理由・代案
1	市	構造物（立札）の移設（交差点南西）	△	管理者との調整が必要
2	警	横断歩道の位置調整及び停止線の前出しによる交差点のコンパクト化・見通しの改善	△	カラー舗装等の位置調整も含まれるため
3	市	電柱の移設による歩行空間確保（交差点北西）	△	今回目的の対象でないため優先度低い
4	市	ポストコーンの設置による速度抑制（交差点北東）	△	調整が必要
5	警	40km/hの規制速度を30km/hへ引き下げ	△	地元要調整（市とも調整必要）
6	市 警	中央線を抹消し、外側線の設置による歩行空間の確保（北西・南東道路）	△	今回目的の対象でないため優先度低い・地元要調整（市とも調整必要）
7	市	中央線にランブルストリップスまたはキャッツアイの設置（北西・南東道路）	△	地元調整が必要 キャッツアイについては管理上設置していない
8	市	幅員を狭くし、グリーンベルトを設置（北西・南東道路）	△	今回目的の対象でないため優先度低い
9	市	外側線設置による横断歩道前の歩行空間確保（交差点北東）	△	調整が必要
10	市	交差点のハンプ化	△	調整が必要
11	市	民家の生垣の撤去による見通しの確保（交差点北西）	△	管理者（私有地）との調整が必要
12	市	外側線の設置（交差点北西道路の直線部分）	△	調整が必要
13	市	交差点からやや離れた箇所の中央線上などにポストコーンを設置して進入速度抑制を図る（北西・南東道路）	△	調整が必要
14	市	公式ではないと思われるカーブミラーについて、その設置経緯および必要性の確認（交差点北東）	△	調整が必要

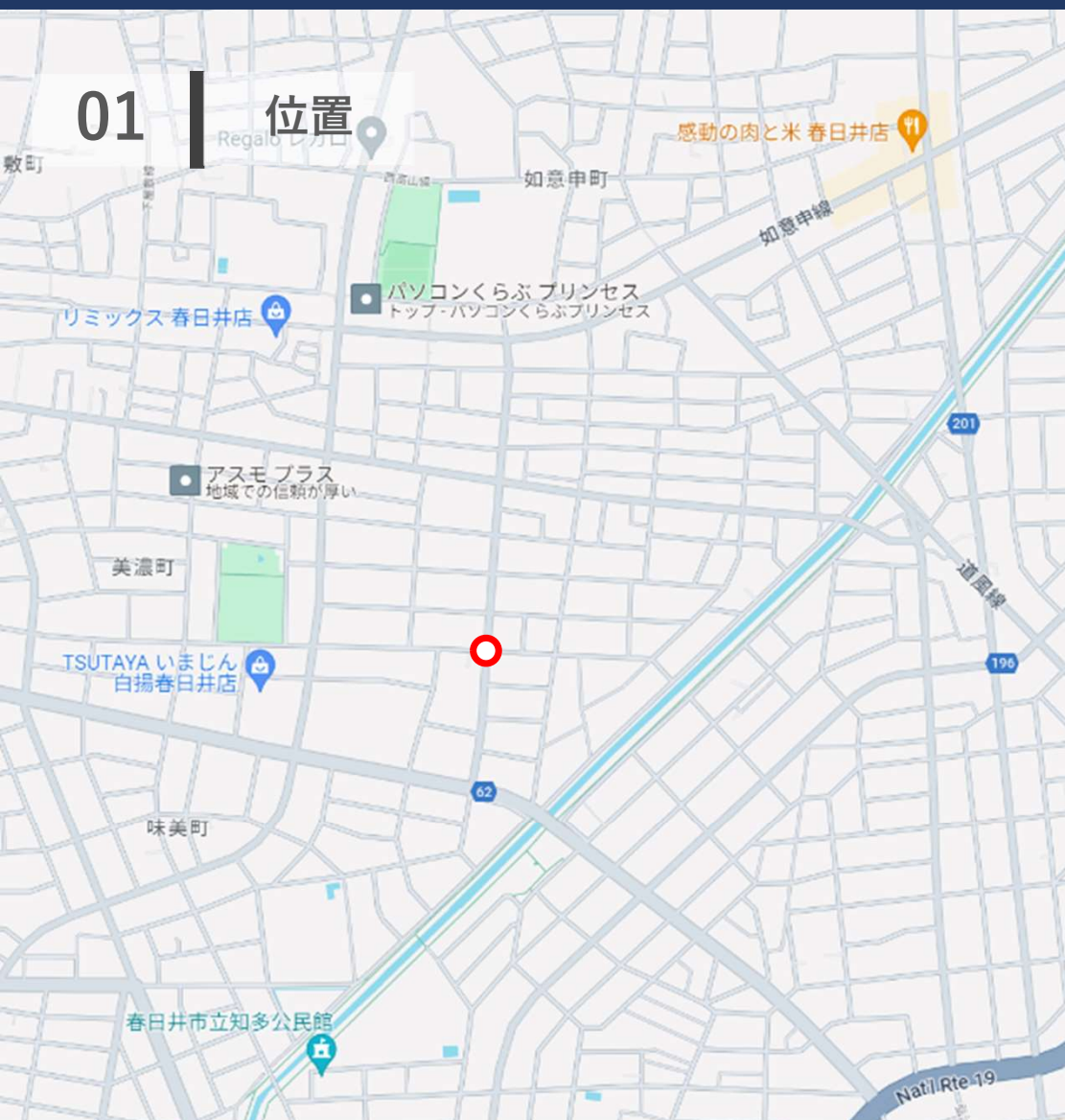
対策実施箇所

	対策実施予定箇所	選定理由	特記事項
①	しもはらちょうはったがわ 下原町八田川付近市道	30km/h規制。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。車のスピードが速い。	30km/h超過率が高い。 通過台数が多い。
②	うしやまちょう 牛山町天神橋付近市道	速度規制なし。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。車のスピードが速い。通学路。	ABS発生率が高い。 通過台数は少ない。
③	さかしたちょう 坂下町2丁目地内交差点	40km/h規制。県道～国道の主要道路。幅員が狭い。 通学路（横断歩道）。横断歩道で車が止まらない。	近隣道路において、ABS発生率 が高い。（北西進道路）
④	みのちょう 美濃町3丁目地内交差点	30km/h規制。事故多発（車両同士）。 安全対策の要望が多い。	近隣道路において、30km/h 超過率が高い。（南北道路）
⑤	まつもとちょう 松本町2丁目付近市道	30km/h規制。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。大学生・高校生の自転車が多い。 地元から、当路線の対策（通過する車の量を減らす、 北側の県道に迂回させる）を求められている。	通過台数が多い。（西進道路） 交通事故が多発している

対策の実施状況について

春日井市 

01 位置



④ 美濃町3丁目地内交差点



道路状況

- 30km/h規制
- 直線道路の交差点
- 事故多発（車両同士）
- 安全対策の要望が多い

- ・ 交差点赤塗（H26頃→再度赤塗実施）
- ・ ドットマーク設置
- ・ カーブミラー設置（R3）

02 対策の内容と実施状況

④ 美濃町3丁目地内交差点

番号	対策機関	対策内容	実施可否	理由・代案	実施時期	実施状況
1	市	主道路において物理デバイスの設置による狭さく化（交差点手前）	×	物理的デバイスはゾーン30プラスの区域に設置する方針。今回の対策としては、不可。	—	実施なし
2	市	外側線の設置（交差点西）	△	「止まれ」及びイメージハンプを塗りなおす必要があり、狭くなるため、巻き込み線のみ設置	R6.2	実施済
3	市	外側線の角度を直角へ変更し交差点らしさを出す（交差点東）	○		R6.2	実施済
4	市	主道路を示す誘導破線の設置	○		R6.2	実施済
5	市	主道路にイメージハンプの設置（交差点手前）	×	現在、イメージハンプは設置しない方針	—	実施なし
6	市	スムーズ横断歩道化	×	物理的デバイスはゾーン30プラスの区域に設置する方針。今回の対策としては、不可。	—	実施なし
7	警	信号機の設置	×	信号機の必要性を調査し検討→実施しない	—	実施なし

西進

④ 美濃町3丁目地内交差点

Before

② 巻き込み線の設置 (交差点西) (市)

After



③ 外側線の角度を直角へ変更し交差点らしさを出す (交差点東) (市)

④ 主道路を示す誘導破線の設置 (市)

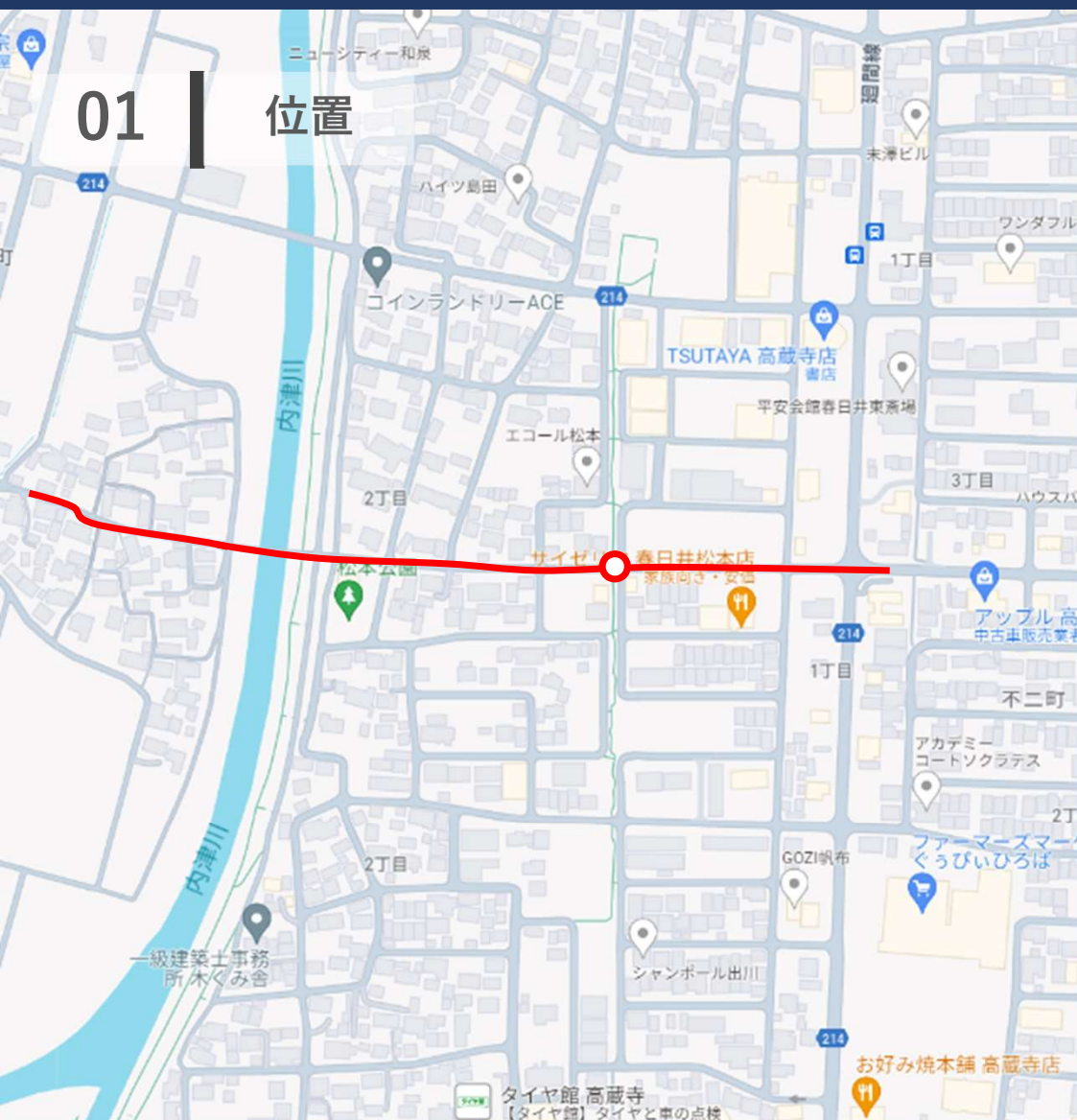
対策実施箇所

	対策実施予定箇所	選定理由	特記事項
①	しもはらちょうはったがわ 下原町八田川付近市道	30km/h規制。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。車のスピードが速い。	30km/h超過率が高い。 通過台数が多い。
②	うしやまちょう 牛山町天神橋付近市道	速度規制なし。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。車のスピードが速い。通学路。	ABS発生率が高い。 通過台数は少ない。
③	さかしたちょう 坂下町2丁目地内交差点	40km/h規制。県道～国道の主要道路。幅員が狭い。 通学路（横断歩道）。横断歩道で車が止まらない。	近隣道路において、ABS発生率 が高い。（北西進道路）
④	みのちょう 美濃町3丁目地内交差点	30km/h規制。事故多発（車両同士）。 安全対策の要望が多い。	近隣道路において、30km/h 超過率が高い。（南北道路）
⑤	まつもとちょう 松本町2丁目付近市道	30km/h規制。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。大学生・高校生の自転車が多い。 地元から、当路線の対策（通過する車の量を減らす、 北側の県道に迂回させる）を求められている。	通過台数が多い。（西進道路） 交通事故が多発している

対策の実施状況について

春日井市

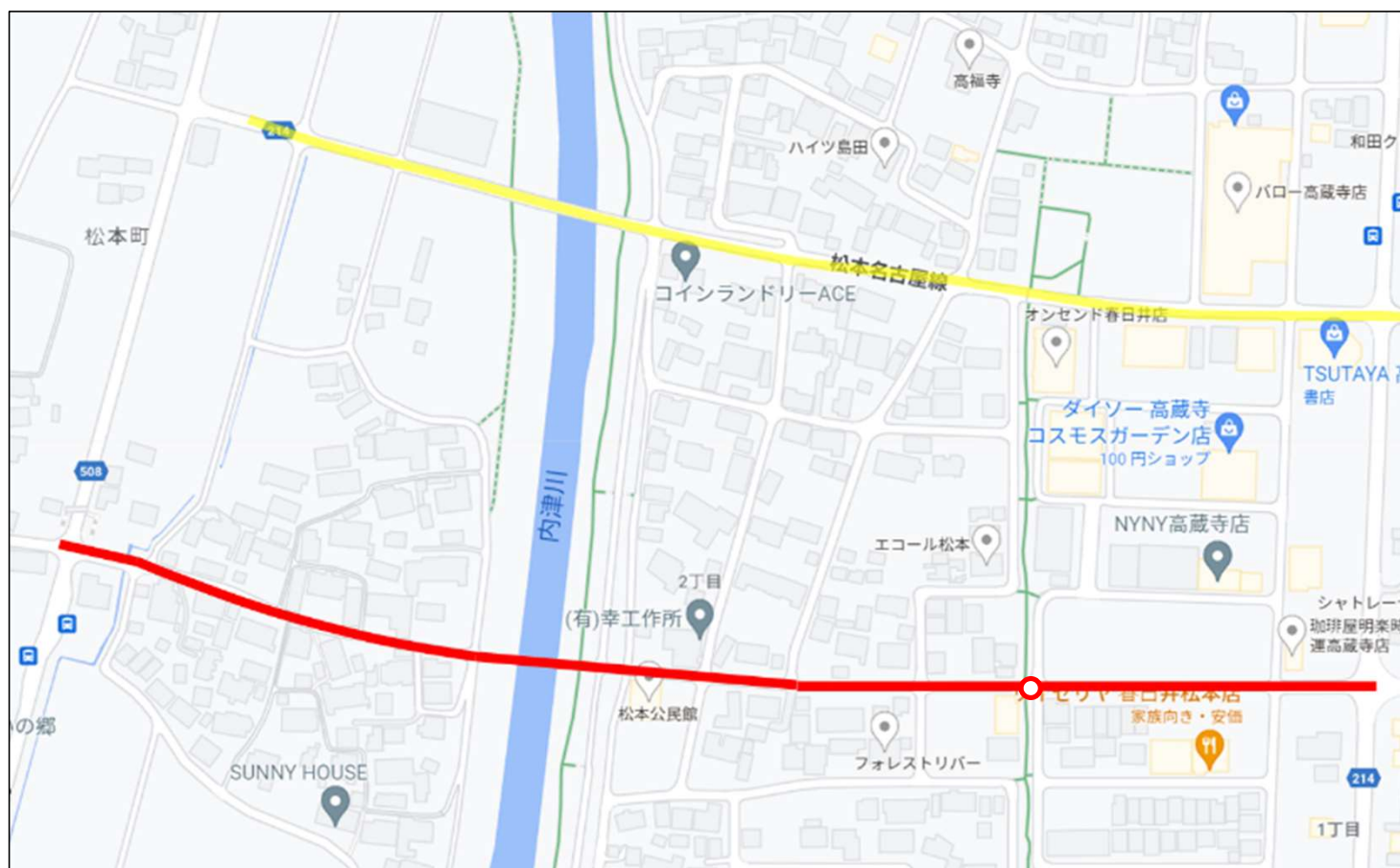
01 | 位置



⑤ 松本町2丁目付近市道



⑤ 松本町2丁目付近市道



道路状況

- ・ 幅員が狭い
 - ・ 抜け道
 - ・ 朝の交通量が多い
 - ・ 大学生・高校生の自転車が多い
- ※ 地元から、当路線の対策（通過する車の量を減らす。
北側の県道に迂回させる。）を
求められている。

実施済の対策

- ・ 30km/h 規制（R4.8）済

02 対策の内容と実施状況

⑤ 松本町2丁目付近市道

番号	対策 機関	対策内容	実施 可否	理由・代案	実施時期	実施状況
1	警	西側方面への一方通行及び信号の廃止により、右折しづらくすることで、抜け道利用を減らす（橋手前～松本町交差点）	×	地元要調整→調整が取れないため実施しない	—	実施なし
2	市	ガードレールによる狭さく及び歩行空間の確保（公民館より西側のカーブ内側（北側））	△	調整が必要	未定	調整中
3	市	ガードレールによる狭さく（連続的に設置）（公民館より東側）	△	地元と調整し、 横断歩道のある交差点を外側線とポストコーンで狭さく（試行）	R6.1	実施済
4	市	交差点のハンプ化（松本町交差点・公民館より東側は一定間隔で設置）	△	調整が必要	未定	調整中
5	市	ガードレールの修繕	△	予算調整が必要	未定	調整中
6	市	グリーンベルトの塗り直し、イメージハンプの設置	△	調整が必要・現在、イメージハンプは設置しない方針	未定	調整中
7	市	不要ミラーを撤去し、必要に応じて停止指導線の設置（橋付近）	△	ミラーの撤去は不可（地元で必要とのこと） 停止指導線を設置	R6.1	実施済
8	市	薄れている外側線の塗り直し	△	調整が必要	未定	調整中
9	市	側溝のフタを設置、クルマが路肩に寄りすぎないようにポストコーンを設置	△	側溝の蓋は過去に交渉不調・ポストコーンは調整が必要	未定	調整中

東進・西進

Before



⑤ 松本町2丁目付近市道

After



③ 横断歩道のある交差点を外側線とポストコーンで狭さく（市）

北進

Before



⑤ 松本町2丁目付近市道

After



⑦ 停止指導線を設置 (市)